

FILE No. 7
保健福祉部

ファイルは全21ファイルあり 評価表の見方はFILENo. 1にあります。
評価一覧は、FILENo. 1の整理番号順目次をご覧ください。
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
保健福祉部管理課 (その1)	143		保健福祉部一般管理
	145		民生(児童)委員活動
	146		民生(児童)委員協議会運営助成
	147		社会福祉協議会に対する助成等
	148		生業資金
	149		応急小口資金
	150		戦没者遺家族等援護
	152		行旅病人等援護
	153		応急援護事業
	154		地域福祉活動立上げ支援
	155		社会福祉基金
	156		ボランティア活動振興事業委託
	157		ハンディキャブ運行事業に対する助成
	158		ボランティアセンター等維持管理
	159		ボランティア活動振興事業助成
	160		保健・福祉サービス調整会議運営
	161		保健・福祉行政推進会議運営
	162		福祉サービス調整チーム(旧高齢者等サービス調整チーム)運営
163		高齢者等在宅サービス研究会運営	
164	2		福祉サービス支援センター運営
165			福祉のまちづくりの啓発・PR
166			災害時地域助けあいネットワーク
167			福祉マンパワー確保推進委員会運営
168			福祉人材修学資金貸付

次のページへ

[保健福祉部]管理課(その2)

次の次のページへ

国民健康保険課 / 国民年金課

FILE No. 7
保健福祉部

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1**にあります。
評価一覧は、**FILE No. 1の整理番号順目次**をご覧ください。
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
保健福祉部管理課 (その2)	169		家族介護者ヘルパー受講料助成
	211	1	施設建設助成
	211	2	高齢者共同生活(グループリビング)支援事業
	274	2	民営通所授産施設への助成
	278		女性福祉資金
	281		災害弔慰金・災害障害見舞金
	282		災害見舞金
	283		一時避難所の設置
	327		福祉事務所改築 東福祉事務所
	328		福祉事務所改築 西福祉事務所
	329		障害者集会施設
	330		法外援護
	332		生活保護費(特別見舞金)
	390	1	少子化対策臨時特例交付金事業(区立保育園施設設備整備)
	390	2	少子化対策臨時特例交付金事業(桃井グループ保育室設置)
	391	1	児童館改築(荻窪北児童館)
	391	2	児童館改築(荻窪児童館)
	401	1	保育園改築(高井戸保育園)
	401	2	保育園改築(高円寺北保育園)
	401	3	保育園改修(四宮保育園)
413		区・医師会・歯科医師会との連絡会	

[前のページへ](#)

[次のページへ](#)

[保健福祉部]管理課(その1)

国民健康保険課 / 国民年金課

FILE No. 7
保健福祉部

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1**にあります。
 評価一覧は、**FILE No. 1の整理番号順目次**をご覧ください。
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

3 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
国民健康保険課	960		管理関係事務 (庶務事務)
	961		資格賦課関係事務
	962		給付関係事務
	963		収納関係事務
	964		国民健康保険運営協議会
	965		国民健康保険事業の普及啓発
	966		東京都国民健康保険団体連合会負担金 (国民健康保険)
	967		国民健康保険の給付等
	968		他制度への拠出金
	969		保養施設
	970		健康づくり推進事業
	971		医療費通知
国民年金課	333		福祉年金事務
	334		被保険者資格管理事務
	335		保険料収納事務
	336		受給者関係事務

前のページへ

[保健福祉部]管理課 (その2)

前の前のページへ

[保健福祉部]管理課 (その1)

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健福祉部一般管理				整理番号	143		枝番号						
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	910101		連絡先電話番号	1345		昨年度整理番号	156				
係名 庶務係				上位施策名				NO							
予算事業名		厚生部一般管理		コード	17400		保健福祉施策の総合的推進				21				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 50 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区組織条例										
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 職員,組織				(2) 杉並区職員の旅費に関する条例										
					(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 事務事業の執行に必要な事務用消耗品類の購入、職員への旅費の支給、その他組織の維持運営 その他部内調整事務				活動指標名(式)										
					(1) 保健福祉部職員数										
				(2)											
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 事務処理環境の整備により円滑に業務が執行できる 庶務的経費の効率的な経理により部内事務事業の効率的な執行ができる				成果指標名(式)											
				(1) 予算執行率											
				(2)											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 円滑な業務の執行を支援する															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		505		496		2,014		2,014		2,085				
	活動指標(2)														
	成果指標(1)						100		87		100				
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,612		7,642		24,725		21,443		20,712		特記事項 13年度に厚生部、高齢者福祉部、女性・児童部、保健衛生部が統合されたので、13年度の数値は旧4部の合算。	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	2.81		2.81		22.16		12.21	0.40	3.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	25,495		25,495		201,102		110,806		27,225		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		1,186		0		
	総事業費 ++		千円	37,107		33,137		225,827		133,435		47,937			
	単位あたりコスト ÷		円	73,479		66,809		112,129		66,254		22,991			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	37,107		33,137		225,827		133,435		47,937				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成13年4月1日の組織改正で厚生部、高齢者福祉部、女性・児童部、保健衛生部が統合され、新たに保健福祉部となった。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)														
	今後の予測		部の庶務的業務、調整業務の集約が進み更なる増加が見込まれる。パソコン一人一台の整備や文書管理システムの導入により事務の省力化、ペーパーレス化により経費の削減が見込まれる。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民生(児童)委員活動			整理番号	145		枝番号		
所属部課名 保健福祉部管理課				コード	090104	連絡先電話番号	1358	昨年度整理番号	158	
係名 地域福祉係				上位施策名				NO		
予算事業名 民生(児童)委員活動				コード	20350	地域福祉の基盤整備				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				23 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 民生委員法			
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				民生委員・児童委員(主任児童委員を含む)		(2) 民生委員法施行令			
							(3) 児童福祉法			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				民生委員・児童委員の調査、相談活動等を行うための活動費を支給する。		活動指標名(式)			
						(1) 調査・相談活動件数				
						(2) 民生委員・児童委員数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				民生委員・児童委員が福祉を必要とする地域住民に、円滑な相談活動等を行えるように支援する。		成果指標名(式)				
						(1) 調査・相談活動件数 ÷ 現委員数				
						(2) 現委員数 ÷ 委員定数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
福祉を必要とする地域住民の相談に応えられる環境を整備することが、地域福祉の推進につながっている。										

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	件	33,512	21,120	22,000	29,156	28,000			
	活動指標(2)	人	418	418	423	415	423			
	成果指標(1)	件	80	50	54	70	66			
	成果指標(2)	%	99	99	100	98	100			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	44,938	44,866	47,626	52,653	45,393	特記事項		
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)	人	3.99	4.19	3.22	3.45	2.34			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	36,201	38,016	29,222	31,309	21,236		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	81,139	82,882	76,848	83,962	66,629			
	単位あたりコスト ÷	円	2,421	3,924	3,493	2,880	2,380			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円	44,070	44,019	44,366	43,668	44,507		
		特定財源計 +	千円	44,070	44,019	44,366	43,668	44,507		
差引:一般財源 -		千円	37,069	38,863	32,482	40,294	22,122			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	昭和25年当時民生委員の定数は140名で、昭和48年には348名となり、現在は423名となった。また、昭和48年には相談件数が8,796件であったが、平成13年度には29,156件と3.3倍と急増してきている。これは、民生委員が担当区域の相談活動をくまなく行っている成果であり、その相談内容も複雑多様化してきている。高齢者の増加に伴い、介護保険についての相談や児童問題も増加の一途をたどってきている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	近隣との関係が希薄になっているため、地域社会に溶け込めない高齢者等がひきこもりにならないよう、生活状況の把握のなかで知り得たことが、とすると偏った見方から苦情に発展する場合もある。常識のある地域住民の立場に立った相談活動を心がけているが、誤解から区への要望や苦情となって浮上する場合もある。
	今後の予測	今後、ますます近隣関係が希薄になり、高齢者のひと暮らしや孤独になりがちな子育て世帯が、地域との交流や関わりを持つことで「ひきこもり状態」にならないよう、地域での支援が必要である。反面、プライバシーが保護されていない等の苦情につながる場合もあり、住民対応が難しくなると推測される。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民生(児童)委員協議会運営助成				整理番号	146		枝番号							
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090104		連絡先電話番号	1358		昨年度整理番号	159					
係名				地域福祉係				上位施策名			NO					
予算事業名				民生(児童)委員活動				コード			20350					
								地域福祉の基盤整備			35					
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		42 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 民生委員法							
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並区民生委員児童委員協議会				(2) 民生委員法施行令					
									(3) 杉並区民生委員児童委員協議会に対する助成金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				民生委員・児童委員の知識の修得と相談活動を援助するため、地区協議会が行う会議や自主研修、講演会に対する経費の一部を助成する。				活動指標名(式)				(1) 地区協議会参加者数			
									(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				地区協議会で自主研修や事項別合同研修を行うことにより、民生委員・児童委員の資質の向上につなげる。				成果指標名(式)				(1) 研修 講演会等開催件数				
								(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																
福祉を必要とする地域住民の相談等を地区協議会などで問題解決策を協議し、対応することにより地域福祉の推進につながっている。																
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		年度					
指標	活動指標(1)		人	4,411		4,308		4,609		4,277		4,400				
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		件	163		157		170		161		145				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,367		5,948		5,952		5,980		5,950		特記事項		
	(内)委託費		千円													
	職員数(正規 非常勤)		人	0.36		0.38		0.28		0.29		0.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,266		3,448		2,541		2,632		1,815			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0			
	総事業費 ++		千円	9,633		9,396		8,493		8,612		7,765				
	単位あたりコスト ÷		円	2,184		2,181		1,843		2,014		1,765				
	財源	受益者負担分		千円												
		国 都等からの支出金		千円	3,015		3,012		3,045		2,991		3,045			
		特定財源計 +		千円	3,015		3,012		3,045		2,991		3,045			
差引:一般財源 -		千円	6,618		6,384		5,448		5,621		4,720					
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		助成開始当初、地区協議会は7地区あり 昭和48年からは13地区となり 民生委員・児童委員活動も広範囲にわたるようになった。平成12年4月1日の民生委員法の一部改正により委員の役割が明確化し、地域福祉の拠点となるよう民生委員児童委員協議会活動への期待が高まってきている。													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		地域住民が安心して暮らせる地域社会が要望されている。地区協議会の相談活動の一環として「よるず相談所」を設置したり 保健センターと共催し定期的に開催する「育児相談会」等、地域に定着してきている。社会福祉協議会の「きずなサロン」についても地区協議会で応援態勢をとっており 地域の方々のふれあい、交流の場として各地区に広がりをみせている。													
	今後の予測		高齢者や障害者等誰もが安心して暮らせる地域社会をつくるため、社会情勢の変化に速やかに対応した相談・支援活動が行えるよう 委員ひとりひとりの資質の向上が求められている。													

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会福祉協議会に対する助成等				整理番号	147		枝番号				
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090104		連絡先電話番号	1356		昨年度整理番号	160		
係名		地域福祉係				上位施策名			NO				
予算事業名		社会福祉協議会に対する助成等		コード	18000		地域福祉の基盤整備			35			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		41 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 社会福祉法第58条、第107条						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民及び社会福祉協議会事務局職員、社会福祉協議会会員		(2) 社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		社会福祉協議会に対して、職員の人件費及び普及宣伝活動・地域福祉活動等に係る経費の一部を補助する。				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		社会福祉協議会の自主的な取り組みを強化することにより、地域福祉活動が推進される。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
地域福祉の推進を図ることができる。													
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		人	105,812	121,016		154,819						
	活動指標(2)		人	2,640	1,893	2,188	1,995	2,188					
	成果指標(1)		%	18.6	14.1	12.9	16.5	16.0					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	78,965	79,985	81,865	90,591	93,345		特記事項			
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.52	0.54	0.31	0.35	0.35					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,718	4,899	2,813	3,176	3,176					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	83,683	84,884	84,678	93,767	96,521					
	単位あたりコスト ÷		円	791	701		606						
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	83,683	84,884	84,678	93,767	96,521						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		創設当初から事務局人件費及び一部事務費を助成している。区の補助額はH5 50,678千円、H13 90,548千円と増加傾向にある。サービス利用延べ人数も、H5 人、H13 154,819人と増加傾向にある。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)												
	今後の予測		長引く不況や少子高齢化等社会環境の変化の中で、住民のニーズは多様化してきている。改正社会福祉法でも地域福祉についての社会福祉協議会の役割を規定しているので、今後社協への期待はさらに高まるものと思われる。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生業資金				整理番号	148		枝番号					
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	900104		連絡先電話番号	1355		昨年度整理番号	161			
係名				地域福祉係				上位施策名			NO			
予算事業名				生活資金等貸付				地域福祉の基盤整備			35			
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		29 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区生業資金貸付条例					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 同施行規則					
	一般金融機関から融資を受けることが困難な区内在住の個人事業主								(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)								活動指標名 (式)					
	個人事業主からの融資の相談に応じ、借受資格の審査及び事業所調査を実施したうえで貸付を決定する。貸付後7年以内に償還できるように債権を管理する。								(1) 貸付件数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)								成果指標名 (式)						
区が事業用(運転・設備)資金を低利で融資し、その融資で自立した生計を立てる。								(1) 償還率						
(2)														
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
資金の貸付により、区民生活の安定を図ることは直接的な地域福祉施策である。														
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)	件	15	9	22	6	12							
	活動指標(2)	千円	26,320	15,320	43,200	8,200	23,200							
	成果指標(1)	%	20	18	20	16	20							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円	26,590	15,545	43,468	8,377	23,459	特記事項						
	(内)委託費	千円												
	職員数(正規 非常勤)	人	2.21	0.00	1.71	0.00	1.03	0.00	0.91	0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	20,051	15,515	9,347	8,258	8,258						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++	千円	46,641	31,060	52,815	16,635	31,717							
	単位あたりコスト ÷	円	3,109,422	3,451,092	2,400,693	2,772,542	2,643,104							
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0						
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0						
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	46,641	31,060	52,815	16,635	31,717							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	(単位:千円) S29年度 貸付47件 貸付額 1,410 (開始当初から平成13年度までの累計)貸付3,112件 完納2,639件 貸付額1,856,265千円 償還額1,571,211千円												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	連帯保証人を必要としない貸付制度にしてほしい。 貸付限度額を上げてほしい。 簡易な申し込みにより貸付を受けたい。												
	今後の予測	長引く不況の下、事業を拡大する事が困難になり 申込件数 貸付件数ともに減少していく事が予想される。さらには、過去の貸付けに関して、これまでの滞納者はより滞納が重なり 順調に償還してきた借受人までもが滞納者へとなる事が予想される。これについては今まで以上に徹底した債権管理が必要とされる。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		応急小口資金				整理番号	149		枝番号				
所属部課名 保健福祉部管理課			コード	090104		連絡先電話番号	1355		昨年度整理番号	162			
係名 地域福祉係			上位施策名						NO				
予算事業名 生活資金等貸付			コード	21850		地域福祉の基盤整備							
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			48年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有			平成年度		(1) 杉並区応急小口資金貸付条例							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			区内在住の低所得世帯主		(2) 同施行規則							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			災害や病気などで応急に資金を必要とし、他から借受けることが困難な低所得世帯主に、借受資格等の審査のうえ、無利子で貸付ける。貸付後は債権を管理する。		(3)							
	活動指標名(式)			(1) 貸付件数									
				(2) 貸付金額									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			資金を無利子で貸付けることにより、安定した生活を維持する。		成果指標名(式)								
			意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		(1) 償還率								
			資金の貸付により、区民生活の安定を図ることは直接的な地域福祉施策である。		(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
資金の貸付により、区民生活の安定を図ることは直接的な地域福祉施策である。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		件	150	83	135	107	108					
	活動指標(2)		千円	18,715	8,768	17,257	11,576	13,070					
	成果指標(1)		%	17	17	18	12	13					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,913	8,965	17,488	11,755	13,301	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	1.51	0.00	1.31	0.00	1.31	0.00	1.07	0.00	1.07	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,700	11,886	11,888	9,710	9,710				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	32,613	20,851	29,376	21,465	23,011					
	単位あたりコスト ÷		円	217,422	251,212	217,602	200,610	213,067					
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	32,613	20,851	29,376	21,465	23,011						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		S.48年度貸付62件貸付額2,395千円H.13年度貸付107件貸付額11,576千円(開始当初からの累計)貸付3,942件完納2,886件貸付額431,862千円償還額344,979千円										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		連帯保証人を必要としない貸付制度にしてほしい。理由を問わず貸付けてほしい。区内在住1ヶ月でも貸付けてほしい。										
	今後の予測		長期化する景気の低迷により 相談件数が減少することはないと思われる。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		戦没者遺家族等援護				整理番号	150		枝番号				
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090104		連絡先電話番号	1357		昨年度整理番号	164		
係名		地域福祉係				上位施策名			NO				
予算事業名		戦没者遺家族等援護		コード	20750		地域福祉の基盤整備			35			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		27 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 恩給法						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		戦傷病者及び戦没者等遺家族		(2) 戦傷病者戦没者遺家族等援護法						
							(3) 戦傷病者特別援護法						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各種特別給付金・甲慰金受付及び国債交付等、恩給受付及び指導				活動指標名(式)			(1) 申請の相談 受理 進達の件数			
									(2)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		申請・受理・進達・相談を受け付け、手続きを円滑に進め、漏れのないようにする。				成果指標名(式)			(1) 裁定を受けた人数 ÷ 受付件数				
									(2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
手続きを支援することで時効失権を防ぎ、遺族に対する経済的援助ができる。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		件	107		87		50	76		70		
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	82		69		70	95		95		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	23		31		30	27		32	特記事項	
	(内)委託費		千円	0									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.25		0.27		0.27		0.34		0.55	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,268		2,450		2,450	3,086		4,991	
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0		0	
	総事業費 + +		千円	2,291		2,481		2,480	3,113		5,023		
	単位あたりコスト ÷		円	21,414		28,514		49,605	40,954		71,761		
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0		0	
差引:一般財源 -		千円	2,291		2,481		2,480	3,113		5,023			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		過去3年間の進達件数 平成11年(43) 平成12年(59) 平成13年(19)										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		申請に必要な書類等が複雑で多すぎる。申請から交付までに時間がかかりすぎる。										
	今後の予測		戦傷病者及び戦没者等の遺族の高齢化に伴い、本事業の対象者も減少していくため、事務量も減少していく。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		行旅病人等援護				整理番号	152		枝番号				
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	900104		連絡先電話番号	1355		昨年度整理番号	166		
係名		地域福祉係				上位施策名				NO			
予算事業名		行旅病人等援護		コード	20950		生活の安定と自立への支援				36		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ○ 平成		M32	年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成	年度		(1) 行旅病人及行旅死亡人取扱法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 墓地埋葬等に関する法律								
	区内で死亡した身元不明及び引取者のない遺体 区内で倒れ療養を要する救護者のない病人 23区の区民で葬儀を行う人又は亡くなった人		(3) 特別区区民葬儀実施要領										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内で死亡した身元不明及び引取者のない遺体を火葬し、寺にその遺骨の維持管理を依頼する。 医療機関に被救護者に必要な医療の給付を依頼する。 利用者の申請に基づき利用券を交付する。		活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		身元不明及び引取者のいない遺体の火葬を行い、遺骨を寺に預け、無縁仏として供養する。 救護者のない病人に対し、医療機関より適切な医療を受けさせる。 23区共通で依頼している料金にて、葬儀が行えるようにする。		成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		件	5	9	5	5	5	5				
	活動指標(2)		件	0	2	1	1	1	1				
	成果指標(1)		件	5	9	5	5	5	5				
	成果指標(2)		件	0	2	1	1	1	1				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,097	1,466	1,357	2,173	1,349	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.78	0.00	0.83	0.00	0.60	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,077	7,531	5,445	3,086	3,086					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	8,174	8,997	6,802	5,259	4,435					
	単位あたりコスト ÷		円	1,634,788	999,621	1,360,400	1,051,700	886,900					
	財源	受益者負担分		千円	125	179	2	274	3				
		国都等からの支出金		千円	757	2,606	1,518	1,308	1,518				
		特定財源計 +		千円	882	2,785	1,520	1,582	1,521				
差引:一般財源 -		千円	7,292	6,212	5,282	3,677	2,914						
受益者負担比率 ÷		%	1.5	2.0	0.0	5.2	0.1						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		行旅死亡人取扱件数 昭和8年(11)、昭和60年(2)、平成13年(5) 行旅病人取扱件数 昭和8年(3)、昭和60年(0)、平成13年(1)										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		遺族とはいえ、長期間音信不通の場合には引取りたくない等。										
	今後の予測												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		応急援護事業				整理番号	153		枝番号		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	90104	連絡先電話番号	1357		昨年度整理番号	167	
係名		地域福祉係			上位施策名				NO		
予算事業名		助け合い運動		コード	21950	生活の安定と自立への支援				36	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1)				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		生活困窮者		(2)				
							(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		社会福祉協議会に委託し、生活困窮者に対し、応急的な援護資金の貸付けおよび給付を行う。(従来、区内17ヶ所に設置した「愛の助け合い箱」への寄付金を財源の一部としていたが、平成14年3月に撤去した。以後は一般会計のみを財源としている。)				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		生活費や就労活動に対し、一時的な援助を行うことにより、生活困窮者の自立更生を助長する。				成果指標名(式)				
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 生活困窮者が自立することにより、安定した生活を実現する。				(1) 援護実施件数					
						(2) 寄付金額					
						(1) 対象者のほとんどが住所不定であるため、成果の計測は不可能)					
						(2)					
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	件	35	38	40	37	40				
	活動指標(2)	円	106,471	131,593	80,000	132,812					
	成果指標(1)	%									
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	220	162	332	258	295	特記事項			
	(内)委託費	千円	217	160	293	225	293	活動指標(2)寄付金額については、愛の助け合い箱」廃止により14年度以降は用いない。			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.25	0.27	0.62	0.62	0.37				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,268	2,450	5,627	5,627			3,358	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0	
	総事業費 + +	千円	2,488	2,612	5,959	5,885	3,653				
	単位あたりコスト ÷	円	71,093	68,729	148,963	159,041	91,319				
	財源	受益者負担分	千円								
		国 都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	2,488	2,612	5,959	5,885	3,653				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	愛の助け合い箱」設置数 昭和35年(10)、昭和60年(30)、平成12年(17)、平成14年(0)									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	特になし。									
	今後の予測	路上生活者からの相談がさらに増加することが予測される。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		地域福祉活動立上げ支援				整理番号	154		枝番号				
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090104	連絡先電話番号	1358		昨年度整理番号	170			
係名		地域福祉係			上位施策名				NO				
予算事業名		地域福祉活動立上げ支援		コード	21150		地域福祉の基盤整備			35			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 18 年度		(1) 杉並区地域福祉活動立上げ支援事業補助金交付要綱						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)						
	営利を目的としない民間団体（利用会員の過半数が杉並区民である）						(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		地域福祉活動団体から補助金交付申請を受け、審査委員会における決定により、その立上げ経費及び継続経費の一部を、期間を3年間に限って助成する。				活動指標名（式）						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		対象団体の地域福祉活動が持続し、区民が継続して福祉サービスを受けることができる。				成果指標名（式）						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		地域福祉活動を活性化し、地域福祉基盤を整備することにつながる。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%				
指標	活動指標(1)	団体		9	16	10	16	77	13.0				
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	%		100	100	100	100	100	100.0				
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	20,213	26,500	25,160	33,450	特記事項					
	(内)委託費		千円					活動指標(1)に関しては累計による目標値と達成率である。H13年度までの累計実績19団体。					
	職員数(正規 非常勤)		人		0.50	0.77	0.77					0.40	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	4,537	6,988	6,988					3,630	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					0	
	総事業費 ++		千円	0	24,750	33,488	32,148					37,080	
	単位あたりコスト ÷		円		2,749,944	2,092,984	3,214,775					2,317,500	
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円		10,085	10,000					12,552	10,000
		特定財源計 +		千円	0	10,085	10,000					12,552	10,000
差引:一般財源 -		千円	0	14,665	23,488	19,596	27,080						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		H12年度に事業を開始し、H12年度9団体、H13年度10団体、H14年度14団体に助成を行った。年々申請団体の活動分野が拡充し、多様な地域福祉活動が活発化している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		活動の拡充に伴う経費を、立上げ経費に準じて助成を受けたい。助成期間終了後も活動場所の提供等、側面からも支援して欲しい。審査委員会で活動の趣旨説明をさせて欲しい。										
	今後の予測		区民主体の多様な地域福祉活動が活発化している。地域に根ざした福祉活動が継続して行えるよう 多方面から支援する必要がある。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会福祉基金				整理番号	155		枝番号				
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090104		連絡先電話番号	1356		昨年度整理番号	171		
係名		地域福祉係				上位施策名			NO				
予算事業名		社会福祉基金運営		コード	19800		地域福祉の基盤整備			35			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区社会福祉基金条例						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区社会福祉基金運営要綱						
	寄付者及び寄付団体						(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		基金の趣旨に賛同を得た寄付金を基金に積み立てる。この基金の果実を地域福祉振興事業の委託とボランティア活動振興事業の助成に充当する。				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		基金の趣旨について、区民や団体に理解を深めてもらい、寄付増につなげる。				成果指標名(式)						
						(1) 寄付件数							
						(2) 寄付金額							
						(1) 基金総額							
						(2)							
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
		基金増額による果実収入を、地域福祉振興事業及びボランティア活動振興事業に活用し、地域福祉の推進を図る。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		件	6	9	10	22	10					
	活動指標(2)		千円	9,012	6,859	10,000	4,855	10,000					
	成果指標(1)		千円	1,099,280	1,081,839	1,091,839	1,084,413	1,094,413					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.02	0.02	0.02	0.02	0.24					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	181	181	182	182	2,178				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	181	181	182	182	2,178					
	単位あたりコスト ÷		円	30,243	20,162	18,150	8,250	217,800					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	181	181	182	182	2,178						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		預金利子は、H2 71,001千円、H7 21,196千円、H13 1,875千円と急減している。一方、事業費では、H2は金利で事業費を100%賄えたと推測できたが、H7は29.4%、H13では5%を充足するにすぎなくなっている。一方、寄付金収入も、長引く不況により目標額に達していない。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)												
	今後の予測		金利の低迷が長期化する中で、今後も果実収入で事業を行うことは難しいと思われる。また、寄付金収入も長引く不況により大幅な伸びは望めない。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ボランティア活動振興事業委託				整理番号	156	枝番号			
所属部課名 保健福祉部管理課		コード	090104	連絡先電話番号	1356	昨年度整理番号					
係名 地域福祉係		上位施策名					NO				
予算事業名 社会福祉基金運営		コード	19800	NPO・ボランティアなどが活動しやすい環境整備					51		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区社会福祉基金条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民及びボランティア団体		(2) 杉並区社会福祉基金運営要綱						
					(3) 杉並ボランティアセンター及びボランティア室設置要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		ボランティアセンター及びボランティア室の運営に必要な機材の維持管理を社会福祉協議会へ委託する(4施設)。		活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		適正な機材の維持管理を行うことにより、利用者が円滑にボランティア活動を展開することができる。		成果指標名(式)						
				(1) 年間事業経費 ÷ 利用者数							
				(2)							
				意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか							
				ボランティア活動が活発になり、地域福祉の増進を図ることができる。							
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		人	8,011	10,535	11,000	11,219	12,000			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		円	76	77	80	71	63			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	607	808	799	799	751	特記事項		
	(内)委託費		千円	607	808	799	799	751			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	181	181	182	182	182		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	788	989	981	981	933			
	単位あたりコスト ÷		円	98	94	89	87	78			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	788	989	981	981	933				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		施設数(ボランティアセンター、ボランティア室)は、H4年から4カ所となり 利用者は、H6 5,149人、H13 11,219人と急増している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		機材の充実を求める声が多い。								
	今後の予測		ボランティア活動が活発になり 今後、ますます利用者数が増加すると思われる。(平成14年10月より区民生活部地域課へ事業移管)								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ハンディキャブ運行事業に対する助成				整理番号	157		枝番号				
所属部課名 保健福祉部管理課		コード	090104		連絡先電話番号	1355		昨年度整理番号	173				
係名 地域福祉係		上位施策名						NO					
予算事業名		ハンディキャブ運行		コード	21350		地域福祉の基盤整備		35				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54 年度		根拠法令等						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 社団法人友愛の灯協会補助金交付要綱						
							(2)						
							(3)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		障害者、高齢者等の社会参加の促進を図るため、ハンディキャブ運行事業の実施団体へ助成する。				活動指標名 (式)							
						(1) 運行件数							
						(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		障害者や体の不自由な高齢者の日常における活動領域を拡大する。				成果指標名 (式)							
						(1) 事業費 ÷ 運行件数							
						(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		障害者や高齢者の活動範囲が広がり、地域福祉の活性化に貢献する。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績		年度			
指標	活動指標 (1)		回	5,256	5,363	5,400	5,209	5,000					
	活動指標 (2)												
	成果指標 (1)		円	2,320	2,230	1,973	2,016	1,990					
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,193	11,960	10,654	10,499	9,952	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.02	0.02	0.11	0.11	0.05					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	181	181	998	998	454				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	12,374	12,141	11,652	11,497	10,406					
	単位あたりコスト ÷		円	2,354	2,264	2,158	2,207	2,081					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	12,374	12,141	11,652	11,497	10,406						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		団体への補助額は、事業開始時 S. 54 の 500 千円から、H. 5 の 8,944 千円へと運行回数の伸びに従い急増したが、その後は、ほぼ横ばい傾向である。一方、委託先の事業費に占める補助率は、S. 54 の 58% から H5 79% に上昇したが、その後 67% 前後でほぼ横ばい傾向である。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)												
	今後の予測		区内の利用者数は増加すると思われるため、ハンディキャブ事業の各団体を全体的な視野から育成する必要がある。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ボランティアセンター等維持管理				整理番号	158		枝番号				
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090104	連絡先電話番号	1356		昨年度整理番号	174			
係名		地域福祉係			上位施策名				NO				
予算事業名		社会福祉基金運営		コード	19800		NPO・ボランティアなどが活動しやすい環境整備			51			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区社会福祉基金条例						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民及びボランティア団体		(2) 杉並区社会福祉基金運営要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		ボランティアセンター及びボランティア室の施設についての維持管理を行う(4施設)。				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		適正な施設維持管理を行うことにより、利用者が円滑にボランティア活動を展開することができる。				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		ボランティア活動が活発になり、地域福祉の増進を図ることができる。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		m ²	302		302		302	302		302		
	活動指標(2)		人	8,011		10,535		11,000	11,219		12,000		
	成果指標(1)		円	96		161		143	170		129		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	773		1,701		1,572	1,916		1,552	特記事項	
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.02		0.02		0.05		0.05			0.05
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	181		181		454	454			454
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0			0
	総事業費 ++		千円	954		1,882		2,026	2,370		2,006		
	単位あたりコスト ÷		円	3,160		6,233		6,708	7,847		6,642		
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0			0
差引:一般財源 -		千円	954		1,882		2,026	2,370		2,006			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		施設数(ボランティアセンター、ボランティア室)は、H4年から4か所となり、利用者は、H6 5,149人、H13 11,219人と急増している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		ボランティア活動の拠点となる場所の確保が困難なため、引き続きボランティア活動の場の提供を求める声が多い。										
	今後の予測		ボランティア活動が活発になり、今後、ますます施設利用者数が増加すると思われる。(平成14年10月より区民生活部地域課へ事業移管)										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ボランティア活動振興事業助成				整理番号	159		枝番号		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090104	連絡先電話番号	1356		昨年度整理番号	175	
係名		地域福祉係			上位施策名				NO		
予算事業名		社会福祉基金運営		コード	19800	NPO・ボランティアなどが活動しやすい環境整備				51	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		59年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 14年度		(1) 杉並区社会福祉基金運営要綱				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民及びボランティア団体、ボランティアセンター職員		(2) 杉並ボランティアセンター及び杉並ボランティア室設置要綱				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		ボランティアセンター職員(5人)の person 費及び研修養成、調査研究、広報活動事業費の一部を助成する。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		地域住民に対するボランティア育成を図ることにより、地域に根ざしたボランティア活動が活発になる。				成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
住民の地域活動への参加が促進され、地域福祉の増進を図ることができる。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		人	529	724	800	717	800			
	活動指標(2)		件	6	6	6	6	6			
	成果指標(1)		%	117	137	110	99	112			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	32,259	29,869	31,524	30,600	30,580		特記事項	
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	544	544	454	454	454			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	32,803	30,413	31,978	31,054	31,034			
	単位あたりコスト ÷		円	62,010	42,007	39,972	43,311	38,792			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	32,803	30,413	31,978	31,054	31,034				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		ボランティア登録者数は、S63 169人、H7 370人、H13 717人と急増し、ボランティアの輪が広がっている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		地域福祉活動の多様化に対応したボランティア研修、養成講座を要望する声が高まっている。								
	今後の予測		ボランティア活動への参加希望者は増加傾向にあり、今後、ボランティア育成事業への需要が高まるものと思われる。(平成14年10月より区民生活部地域課へ事業移管)								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健・福祉サービス調整会議運営				整理番号	160		枝番号			
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	90101	連絡先電話番号	1346		昨年度整理番号	176		
係名		庶務係			上位施策名				NO			
予算事業名		保健・福祉計画の推進		コード	20000		保健福祉施策の総合的推進					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		5 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 13 年度		(1) 杉並区保健・福祉サービス調整会議設置要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)					
	対象		援護を要する高齢者、障害者等				(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		学識経験者、関係団体が推薦する者等を委員に委嘱し、区の職員を幹事として会議を開催する。保健・福祉サービスの総合調整・推進のための企画・立案や情報交換等を行い、保健・福祉計画の推進を図る。				活動指標名 (式)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		会議の意見を保健・福祉施策や計画の見直し等に反映させることにより、援護を要する高齢者等の多様な福祉サービスの需要に的確に対応する。				成果指標名 (式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		様々なサービス需要を把握し、実現に努力していくことにより、区民、団体との信頼関係が生まれ、協働、連携の基盤が築かれる。										
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標 (1)		回	1	1	3	0	0			0.0	
	活動指標 (2)											
	成果指標 (1)		%	92	77	0	0	0			0.0	
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	100	101	380	0	0	特記事項			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.32	0.40	0.30	0.10					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,903	3,629	2,723	908	0				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	3,003	3,730	3,103	908	0				
	単位あたりコスト ÷		円	3,003,360	3,730,200	1,034,167						
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 -		千円	3,003	3,730	3,103	908	0					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険制度の開始により、高齢者の福祉サービスの形態は大きな変化を遂げた。しかし、権利擁護など新たな課題が生まれている。また、女性就労の急増、少子化や核家族化も進み、様々な形態の福祉サービスが必要となっている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)											
	今後の予測		障害者福祉サービスが措置から契約に変化することも踏まえ、対象者が福祉サービスを受けられない不利益や事業者に対する苦情等を解決する仕組みが不可欠となり、区民や関係団体との連携の強化がますます重要となる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保健・福祉行政推進会議運営				整理番号	161		枝番号		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	90101	連絡先電話番号	1346		昨年度整理番号	177	
係名 庶務係					上位施策名				NO		
予算事業名		保健・福祉計画の推進		コード	20000	保健福祉施策の総合的推進				21	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 4年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 13年度				(1) 保健 福祉行政推進会議設置要綱						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民を対象とする保健・福祉、医療行政				(2)						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 助役を会長に推進会議を開催し、保健・福祉施策の総合調整・推進及び保健・福祉計画を策定する。また、推進会議に5部会を置き、専門的事項を調査検討する。				活動指標名(式) (1) 会議開催回数 杉並区保健 福祉計画の策定及び進捗状況の把握、見直し (2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 課題の抽出、検討を行い、総合的かつ効率的に保健福祉行政を推進できるようにする。				成果指標名(式) (1) 会議の出席率 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 社会状況の変化に対応し、その都度課題の検討を行い施策に反映させていることにより、区民が地域で健康にいきいきと安心して暮らせる社会の構築、推進に貢献している。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績		年度	
指標	活動指標(1)		回	4	8	5	0	0			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	96	98	0	0	0			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,531	0	108	0	0	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.74	0.60	0.30	0.10				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	6,714	5,444	2,723	908	0		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	8,245	5,444	2,831	908	0			
	単位あたりコスト ÷		円	2,061,255	680,475	566,100					
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 -		千円	8,245	5,444	2,831	908	0				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険制度の開始や、社会福祉関係法の改正等により、福祉サービスは措置から区民自らが選択し契約する方法にと、大きな転換期を迎えている。また、区の組織改正により、保健と福祉、医療の連携がより緊密になった。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)										
	今後の予測		福祉制度の転換により、区民がサービスを選択するための様々な情報の提供、サービスに対する苦情や権利侵害等の事例が増加すると考えられる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉サービス調整チーム(旧高齢者等サービス調整チーム)				整理番号	162	枝番号				
所属部課名 保健福祉部管理課		コード	90101	連絡先電話番号	1346	昨年度整理番号	179					
係名 庶務係		上位施策名					NO					
予算事業名 保健・福祉計画の推進		コード	20000	高齢者の地域社会での介護予防と自立支援					31			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		3 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 東京都高齢者サービス調整チーム設置運営要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区保健・福祉サービス調整会議設置要綱							
	援護を要する障害者等		(3) 杉並区福祉サービス調整チーム設置要綱									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名(式)						
福祉事務所長を座長とし、福祉、保健・医療関係者により要援護者の健康状態、経済状況、家庭環境等を把握し、具体的な処遇方策の確立、サービスの調整などを行う。					(1) 会議開催数							
					(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名(式)							
対象となる要援護者に最も適切な保健・医療、福祉サービスを提供し、対象者のニーズに応える。					(1) 適切なサービスの処遇が決定された要支援者数							
					(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
対象となる要援護者に最も適切な保健・医療、福祉サービスを提供することで、住み慣れた地域でより幸せな状態で暮らせる。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画		実績		年度	
指標	活動指標(1)		回	19	12	30	10	30				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	19	12	30	10	30				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	82	119	541	91	541	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	272	272	272	272	272			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	354	391	813	363	813				
	単位あたりコスト ÷		円	18,642	32,599	27,108	36,325	27,108				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	354	391	813	363	813					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		介護保険制度の実施から2年が経ち、介護保険制度の初めての見直し作業が行われている。また、15年4月からは障害者支援費制度がスタートし、福祉サービスのあり方が変化している。成年後見制度の活用を含め、保健・医療、福祉サービスを総合的かつ整合性をもって提供していくことが必要になっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測		福祉サービス事業者との連携や、役割の明確化が求められる。また、利用者保護の仕組みが重要になっている。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者等在宅サービス研究会運営				整理番号	163		枝番号				
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	90101		連絡先電話番号	1346		昨年度整理番号	180		
係名 庶務係				上位施策名						NO			
予算事業名 保健・福祉計画の推進				コード		20000		保健福祉施策の総合的推進				21	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				5 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有				平成 年度		(1) 杉並区保健・福祉サービス調整会議設置要綱						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2)								
	援護を要する高齢者等				(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)								
	福祉、保健・医療の関係団体、施設、機関の代表者及び区の職員により、高齢者等の処遇方策の研究などを行う。				(1) 研究会開催数								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)									
様々なケースに対応した処遇の方策を研究することにより、最も適切な保健・医療、福祉サービスを総合的に提供し、対象者のニーズに応える。				(1)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				(2)									
区民の誰もが生涯を通じ住みなれた地域でいつまでも自立した暮らしを続けることができる。													
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標 (1)	回	0	0	4	0	0						
	活動指標 (2)	回	0	0	1	0	0						
	成果指標 (1)												
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	0	276	0	0	特記事項					
	(内)委託費	千円						介護保険制度の実施により在宅サービスのあり方が大きく変化したので、研究会の方向性を検討する必要があり、11年度より休会中のため成果指標は記載していない。					
	職員数 (正規 非常勤)	人	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	91	0				0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				0		
	総事業費 + +	千円	0	0	367	0	0						
	単位あたりコスト ÷	円			91,688								
	財源	受益者負担分	千円										
		国 都等からの支出金	千円										
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0				0		
差引：一般財源 -		千円	0	0	367	0	0						
受益者負担比率 ÷	%			0.0									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	高齢社会が急速に進む中、介護保険制度の実施により区の高齢者施策の枠組みも変化している。介護保険によるサービスと一般の保健・医療、福祉サービスを総合的かつ整合性をもって提供していくことが必要になっている。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)												
	今後の予測	介護保険事業者との連携や、役割の明確化が求められる。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉サービス支援センター運営				整理番号	164		枝番号	2			
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101		連絡先電話番号	1346		昨年度整理番号			
係名 庶務係				上位施策名				NO					
予算事業名		福祉サービス利用者保護		コード	20050		地域福祉の基盤整備				35		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 社会福祉法人杉並区社会福祉協議会補助金交付要綱								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並福祉サービス支援センター				(2)								
					(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 対象を開設するための場の整備を行うとともに、開設に必要な事業費、備品費、消耗品費に対し補助金を交付する。				活動指標名(式)								
					(1) 年間相談件数								
				(2) 福祉サービス利用援助事業の契約者数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 対象が意思能力のある65歳以上の高齢者、身体障害者及び知的障害者に対して行う、福祉サービス利用援助事業や相談事業、成年後見制度支援事業が円滑に行われるようにする。				成果指標名(式)									
				(1) 福祉サービス利用援助事業の契約者数 / 訪問件数 * 100									
				(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者、身体障害者及び知的障害者が住み慣れた地域で安心して住みつづけるられる一助となる。													
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績	計画		年度				
指標	活動指標(1)		件			1,019		1,500					
	活動指標(2)		件			4		20					
	成果指標(1)		%			3		9					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円			12,029		9,117		8,410		特記事項	
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人			0.30	0.30	0.05					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	2,723		2,723		454		
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0		0		
	総事業費 ++		千円	0	0	14,752		11,840		8,864			
	単位あたりコスト ÷		円					11,619		5,909			
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円			10,000		12,585		4,205		
		特定財源計 +		千円	0	0	10,000		12,585		4,205		
差引:一般財源 -		千円	0	0	4,752		-746		4,659				
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		福祉サービスの方法が、措置から契約に大きく転換する中で、成年後見制度と地域福祉権利擁護事業の効果的な連携を図り 意思能力が不十分なこと等によりサービスの利用が困難な痴呆性高齢者や知的障害者等の人権や財産を守り、その自立や生活支援を図るための窓口の創設が早急に求められていた。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		身近に相談できる窓口があつてよかった等、センターに相談して不安が解消されたためか、感謝の言葉を述べて帰る方が多い。										
	今後の予測		相談件数は増加しているが、福祉サービス利用の契約までには何回も訪問を重ねるといふ地道な努力が必要であり、積極的な展開を行うためには、PRとともに支援員を増やすなど人的配慮が必要となる。また任意後見制度の積極的な活用を図る必要があり、支援センターの法人後見など今後検討を進める必要がある。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉のまちづくりの啓発・PR				整理番号	165		枝番号				
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101		連絡先電話番号	1353		昨年度整理番号	181		
係名		庶務係				上位施策名			NO				
予算事業名		福祉のまちづくり推進		コード	20200		地域福祉の基盤整備			35			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		55 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 東京都福祉のまちづくり条例						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民や区内で事業を営む人		(2) 杉並区福祉環境整備要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民や区内で事業を営む人に福祉のまちづくりを理解してもらうため、パンフレット「みんなにやさしいまちづくり」を作成し配布する。福祉のまちづくり啓発のため、区民による実行委員会を設置し、タウンウォッチングを実施しまちを検証した。				活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		障害者が利用しやすいお店が増えることにより、福祉のまちづくりへとつながる。タウンウォッチングを実施したことにより、まちのバリアフリー化が推進されると共に、区民の福祉のまちづくりについて				成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
すべての区民が住みなれた地域で安全かつ快適な生活を送ることができる。													
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	部	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000						
	活動指標(2)	回			6	3	3						
	成果指標(1)		100	100	100	100	100						
	成果指標(2)	回			0	2	0						
総事業費・コスト把握	事業費	千円	210	105	730	365	690	特記事項 11・12年度は都の補助事業がなかった。					
	(内)委託費	千円											
	職員数(正規 非常勤)	人	0.50	0.50	0.40	0.94	1.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537	4,537	3,630	8,531				9,075		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				0		
	総事業費 + +	千円	4,747	4,642	4,360	8,896	9,765						
	単位あたりコスト ÷	円	4,747	4,642	4,360	8,896	9,765						
	財源	受益者負担分	千円										
		国 都等からの支出金	千円			350	228				345		
		特定財源計 +	千円	0	0	350	228				345		
差引:一般財源 -		千円	4,747	4,642	4,010	8,668	9,420						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	少子・高齢化の進展に伴い、区民の福祉環境への意識が向上するようになった。また、杉並区福祉環境整備要綱・ハードビル法 交通バリアフリー法の法制化が図られた。東京都福祉のまちづくり条例については、改正が行われ、障害者・高齢者の視点に子育て支援が加わった。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	施設整備中心が先行しているが、高齢者や障害者への理解を深め「心のバリアフリー」を育てることも求められている。また福祉のまちづくりについて、区民自らの参画の要望もある。											
	今後の予測	年齢、性別や障害の有無にかかわらず、誰もが住みなれた地域のなかで共に認め合いながら、自立した生活のできるノーマライゼーションの思想はますます普及・定着していく。また、年齢・性別・身体など人々が持つ色々な特性や違いを越えて、すべての人が利用しやすい、すべての人に配慮した、まちづくりやものづくりを行うユニバーサルデザインの考え方が普及しはじめてきた。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		災害時地域助けあいネットワーク				整理番号	166		枝番号		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090104	連絡先電話番号	1358		昨年度整理番号		
係名		地域福祉課係			上位施策名				NO		
予算事業名		福祉のまちづくり推進		コード	22550	地域福祉の基盤整備				35	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区防災対策条例				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区災害時要支援者情報の地域提供に関する要綱						
	災害時要支援者		(3)								
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)				
災害時に地域の支援を希望する住民が、自らの情報を地域の民生委員児童委員、消防署及び警察署に提供することを同意の上で、区に登録し、区から登録した情報を提供する。						(1) 災害時要支援者名簿登録者数					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)						成果指標名(式)					
情報を提供し、事前に備えることで、災害発生時における災害時要支援者への迅速かつ適切な救援活動を行うことができる。						(1) 登録者数対前年度比					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		災害に備えた地域の支援体制が整備できる。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	129	300	318	400				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%			246	133				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30	30	30	29		特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人		0.10	0.10	0.11	0.11			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	907	908	998		998	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 ++		千円	0	937	938	1,028		1,027		
	単位あたりコスト ÷		円		7,266	3,125	3,233		2,568		
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0	
差引:一般財源 -		千円	0	937	938	1,028		1,027			
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		登録者数については、年々増加傾向にある。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		災害時には他人の協力をなくしては避難が不可能。防災会や隣人から避難時の協力の申し出があり、プライバシーに拘泥しないで救援体制を構築して欲しい。								
	今後の予測		対象者である65歳以上の高齢者が増加傾向にあるため、今後も、登録者数は増加することが予想される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉マンパワー確保推進委員会運営				整理番号	167		枝番号			
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	90101		連絡先電話番号	1346		昨年度整理番号	182	
係名		庶務係				上位施策名		NO				
予算事業名		在宅福祉の推進		コード	20400		地域福祉の基盤整備		35			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		4 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 13 年度		(1) 杉並区福祉マンパワー確保推進委員会設置要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		福祉に携わる人材		(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		福祉に携わる人材 (福祉マンパワー) の確保及び資質の向上等について検討する。		活動指標名 (式)		(1) 会議開催回数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		福祉マンパワーをより多く確保し、育成し、資質の向上を図る。		成果指標名 (式)		(1)					
										(2)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 福祉マンパワーの有効活用により家庭介護力の強化にもつながる。												
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標 (1)		0	0	1	0	0					
	活動指標 (2)											
	成果指標 (1)											
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	17	0	15	0	0	特記事項				
	(内)委託費	千円						介護保険制度が定着するまで当面の間休会することとし、10年度より開催実績がないため成果指標は記載しない。				
	職員数 (正規 非常勤)	人	0.10	0.10	0.10	0.05	0.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	907	908	454	0				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	924	907	923	454	0					
	単位あたりコスト ÷	円			922,500							
	財源	受益者負担分	千円									
		国 都等からの支出金	千円									
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引：一般財源 -		千円	924	907	923	454	0					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	福祉マンパワー確保推進委員会が設置された平成 4年当時はゴールドプランの目標数値達成に向けて福祉マンパワー確保が急務とされ、区直営の訪問介護員研修を継続して実施してきた。現在も福祉マンパワー確保は急務ではあるが、訪問介護員研修については、民間の養成機関も充実してきており、区が直営で行っていた訪問介護員研修について、13年度以降は行わないこととした。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)											
	今後の予測	保健 福祉計画、介護保険事業計画の見直し時に、各居宅、施設サービスの提供総量、充足率を見極めることが必要である。その後、福祉マンパワー確保事業の見直しを含めた総合的な検討が求められる。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉人材修学資金貸付				整理番号	168		枝番号		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101	連絡先電話番号	1343		昨年度整理番号	183	
係名		庶務係			上位施策名				NO		
予算事業名		在宅福祉の推進		コード	22750	地域福祉の基盤整備				35	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		4 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		○ 無 ○ 有		平成 年度		(1) 福祉マンパワー問題検討会報告				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区福祉人材修学資金貸付要綱						
	区内の医療施設、福祉施設等において看護業務、介護業務、訓練業務及び相談業務に従事しようとする者		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内の医療施設、福祉施設等において看護業務、介護業務、訓練業務及び相談業務に従事しようとする者に対し、修学のための資金を貸し付け、福祉人材を確保する。				活動指標名 (式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区内の医療施設、福祉施設等に就業することにより、区内で必要とされる福祉サービスの総量を確保する。				成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区内の福祉マンパワーを安定して確保することにより、地域における福祉基盤の確立を図る。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標 (1)		人	189	123	87	64	29			
	活動指標 (2)		千円	72,627	48,963	34,976	25,162	12,461			
	成果指標 (1)		%	22	31	32	32	37			
	成果指標 (2)		%	91	85	85	79	85			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	72,775	49,173	35,796	25,275	12,538	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0	成果指標 については、借受人が養成施設卒業後に償還免除対象就業期間に到達して、初めて数値が確定するため現時点では不明。 <11年度実績> 入学支度金28人 修学金146人 就業支度金15人 <12年度実績> 入学支度金20人 修学金103人 就業支度金0人 <13年度計画数値> 入学支度金10人 修学金72人 就業支度金5人 <13年度実績> 入学支度金4人 修学金58人 就業支度金2人 <14年度計画> 修学金29人		
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.70	1.50	0.90	0.91	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	15,424	13,610	8,168	8,258	4,538			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	88,199	62,783	43,964	33,533	17,076			
	単位あたりコスト ÷		円	466,662	510,427	505,328	523,957	588,810			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国 都等からの支出金		千円	13,716	18,368	12,130	16,078			15,014
		特定財源計 +		千円	13,716	18,368	12,130	16,078			15,014
差引:一般財源 -		千円	74,483	44,415	31,834	17,455	2,062				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業が開始された平成4年度には、医療施設を中心に看護師等の人材不足が深刻な社会問題となっており、その後「新ゴールドプラン」の実施のため福祉マンパワーの確保が急務とされた。現在は、「ゴールドプラン21」実現に向けた介護保険の基盤整備の一環として福祉マンパワーの確保が求められている。近年、各資格の養成施設が増設され資格取得者が増加しており、区内の福祉人材が充足傾向にある。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		新規貸付を廃止したため、他に同様の制度がないかという問合せがある。								
	今後の予測										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		家族介護者ヘルパー受講料助成				整理番号	169		枝番号		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	20400	連絡先電話番号	1347		昨年度整理番号		
係名		庶務係		上位施策名				NO			
予算事業名		在宅福祉の推進		コード	介護保険サービスの基盤整備				32		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		根拠法令等				
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 杉並区家族介護者ヘルパー受講料助成金交付要綱 (2) 介護予防・生活支援事業実施要綱 (3)				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 高齢者を現に介護しているか又は介護していた方で、訪問介護員養成研修2級課程又は3級課程を受講し修了認定を受けた方。								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		対象者に受講料の一部を助成する。		活動指標名(式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		福祉マンパワーの確保を図るため、訪問介護員養成研修を受講した方に受講料の一部を助成するとともに、家族介護の経験を活かしてホームヘルパーとして活躍することを支援する。		成果指標名(式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 地域における介護サービス基盤の整備が図れる。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)				80	12	20				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)				80	12	20				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			2,426	361	622		特記事項	
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人			0.30	0.20	0.10			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	2,723	1,815	908		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	5,149	2,176	1,530			
	単位あたりコスト ÷		円			64,356	181,333	76,475			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円			1,800	270	450		
		特定財源計 +		千円	0	0	1,800	270	450		
差引:一般財源 -		千円	0	0	3,349	1,906	1,080				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成13年度新規事業。助成定員80名に対し、制度が浸透していなかったため申請者数が少なかった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		家族介護の経験のない者にも受講料助成をしてほしい。								
	今後の予測		介護保険の在宅サービスの中心である訪問介護については、訪問介護員の確保がさらに求められる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		施設建設助成				整理番号	211		枝番号	1						
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	0090101		連絡先電話番号	1354		昨年度整理番号	228					
係名				計画推進担当				上位施策名				NO				
予算事業名				施設建設助成				コード	25400		介護保険サービスの基盤整備				32	
事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
事業終期				<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 33 年度		(1) 社会福祉法第 58 条								
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		特別養護老人ホーム等に入所を希望している高齢者及びその家族		(2) 社会福祉法人に対する助成の手續に関する条例及び道施行規則								
								(3) 杉並区特別養護老人ホーム等整備費補助要綱								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				特別養護老人ホーム等の高齢者入所施設を杉並区内に建設する社会福祉法人に対し、建設費の助成及び 20 年間に渡り社会福祉・医療事業団借入金償還費助成を行う。				活動指標名 (式)								
								(1) 建設助成施設ベッド数 (特養 軽費 ケアハウス)								
								(2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				特別養護老人ホーム当に入所を希望している高齢者が施設に入所し、必要な介護などが受けられる。				成果指標名 (式)								
								(1) 特別養護老人ホーム整備ベッド数								
								(2) 特別養護老人ホーム入所希望者数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																
家庭での介護が困難な高齢者を特別養護老人ホームで介護することができ、当該高齢者及びその家族の福祉が向上する。																
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%							
					計画	実績		17 年度								
指標	活動指標 (1)		床	1,057	1,057	1,264	1,264	1,314	1,374	92.0						
	活動指標 (2)															
	成果指標 (1)		床	830	830	1,037	1,037	1,087	1,147	90.4						
	成果指標 (2)		人	753	999		1,625									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,092,868	400,895	636,642	636,642	321,480	特記事項							
	(内)委託費		千円													
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.60	1.01	1.50	2.78	2.70								
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	5,444	9,164	13,613	25,229	24,503							
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	1,098,312	410,059	650,255	661,871	345,983								
	単位あたりコスト ÷		円	1,039,084	387,946	514,442	523,632	263,305								
	財源	受益者負担分		千円												
		国 都等からの支出金		千円												
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	1,098,312	410,059	650,255	661,871	345,983									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		特別養護老人ホーム等の整備を計画的に進めてきたが、入所希望者はそれ以上に年々増加している。													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		入所申し込みをしても、なかなか入所できないため、区内に特別養護老人ホーム等の整備を求める強い要望がある。													
	今後の予測		人口の高齢化による介護サービスへの需要が高まるため、今後も施設建設助成による区民優先入所の確保が必要である。													

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者共同生活（グループリビング）支援事業				整理番号	211		枝番号	2		
所属部課名 保健福祉部管理課			コード	090101		連絡先電話番号	1348		昨年度整理番号			
係名 庶務係			上位施策名						NO			
予算事業名 高齢者共同生活支援事業			コード	24450		高齢者の地域社会での介護予防と自立支援						
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度			根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度			(1) 介護予防 生活支援事業実施要綱 (都)								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 おおむね60歳以上の一人暮らし若しくは高齢者のみの世帯で、基本的に自立して日常生活を営むことができ、お互いに助け合いながら生活を共同化できる形態に対し支援をする。			(2) 杉並区高齢者共同生活支援事業実施要綱								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 高齢者が加齢による身体機能の低下を補うため共同で生活する形態に次の支援をし、事業実施についてはNPO法人に委託している。 ・グループリビングに対する支援プログラムの作成及び調整 ・近隣住民、ボランティア団体による支援体制の構築			(3) 介護予防 生活支援事業補助要綱 (都)								
	活動指標名 (式)			(1) 支援箇所数								
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 地域での自立した生活を維持することができるようにする。			(2) 1所あたりの勉強会及び食事会開催数 勉強会9回 食事会25回								
成果指標名 (式)			(1) 支援者数									
			(2) $60歳以上一人暮らし高齢者支援比率 = 支援者数 \div 60歳一人暮らし高齢者$ $0.04\% = 6 \div 14,674$									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者が加齢による身体機能の低下を補うため共同で生活する形態に対し支援をすることにより、要介護高齢者が住み慣れた地域での自立した生活を維持し、一人暮らし高齢者等の保健福祉の向上に貢献する。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績	計画		22年度			
指標	活動指標 (1)		所			1	1	1		7	14.3	
	活動指標 (2)		回			64	34	64		64	53.1	
	成果指標 (1)		人			6	6	6		42	14.3	
	成果指標 (2)		%			0.04	0.04	0.04		0.30	13.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円			4,000	2,985	2,000		特記事項		
	(内)委託費		千円			4,000	2,986	2,000				
	職員数 (正規 非常勤)		人			0.30	0.30	0.30				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	2,723	2,723	2,723				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	0	6,723	5,708	4,723				
	単位あたりコスト ÷		円			6,722,500	5,707,500	4,722,500				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円			3,000	2,288	1,500			
		特定財源計 +		千円	0	0	3,000	2,288	1,500			
差引：一般財源 -		千円	0	0	3,723	3,420	3,223					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成13年度に新規事業として実施し、東京都の介護予防 生活支援事業実施要綱に基づく高齢者共同生活支援事業の実施は23区内で初めての実施となる。 今後平成22年までに区内7カ所で支援をしていく計画である。そのため、現支援個所での支援方法の検証や調査を行いながら事業を推進していき、今後の支援方法の検討をしていく。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		現支援個所の実施については委託先であるNPO法人の多大な協力により実施することが出来た。									
	今後の予測		委託事業者や支援者の確保及び民間集合住宅の協力を確保していくことが困難と思われる。また、利用者は自立して日常生活を営むことができる高齢者が対象となっているため、要介護状態となった場合の受け入れ先の確保や対応の確立が必要である。そのため現在の支援個所での支援方法の検証や調査を行い支援方法の検討をしていくことが必要である。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		民営通所授産施設への助成				整理番号	274		枝番号	2		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101		連絡先電話番号	1348		昨年度整理番号		
係名 庶務係				上位施策名				NO				
予算事業名		民営通所授産施設の整備助成		コード	28860		障害者の社会参加や就労機会の拡大				33	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		根拠法令等					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 13 年度		(1) 障害者基本法第10条の2 第18条					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		心身障害者の通所授産施設を整備する社会福祉法人		(2) 知的障害者福祉法第5条					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		心身障害者の福祉的就労の場を確保するため、社会福祉法人が通所授産施設を建設する場合に、施設整備費を助成する。 13年度は、区内にある既存施設について、老朽化が著しいため、その改築経費の一部を助成した。		活動指標名(式)		(1) 施設数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		通所授産施設整備費を助成することにより、心身障害者の福祉的就労の場を確保する。		成果指標名(式)		(1) 施設数					
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		自立した生活や雇用されることが困難な心身障害者に対して日常生活訓練や働く場が提供され、心身障害者の社会的自立が図られる。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		所			1		1		1	100.0	
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		所			1		1		1	100.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			42,000		42,000		特記事項		
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人			0.10		0.10				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	908		908		0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0		0	
	総事業費 ++		千円	0	0	42,908		42,908		0		
	単位あたりコスト ÷		円			42,907,500		42,907,500				
	財源	受益者負担分		千円			0		0			
		国都等からの支出金		千円			0		0			
		特定財源計 +		千円	0	0	0		0		0	
差引:一般財源 -		千円	0	0	42,908		42,908		0			
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		13年度助成対象の民間通所授産施設は区内施設であるが、老朽化が著しく、早急に改築が必要であった。改築経費を助成することにより利用定員60名を引き続き確保した。 平成18年度以降に計画している助成1所は、区内の心身障害者団体の要望によるものである。同団体の社会福祉法人化を念頭に置いた施設整備計画であったが、法制度の改正に伴い現施設の増改築をしなくても、社会福祉法人化を目指すことが可能になったため、助成の要望を取り下げた。区の計画上も削除することとなった。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		社会福祉法人や心身障害者団体より 助成について要望があった。									
	今後の予測		本事務事業の目標は達成した。今後も、障害者が、持てる力を十分発揮し、自立した自分らしい生活を送れるようにするためには、社会参加、就労機会の拡大のための取り組みは重要である。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		女性福祉資金				整理番号	278		枝番号						
所属部課名		保健福祉部 管理課		コード	090104		連絡先電話番号	1355		昨年度整理番号	287				
係名				地域福祉係				上位施策名			NO				
予算事業名				女性福祉資金貸付				コード	36750		地域福祉の基盤整備			35	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50		年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成		年度		(1) 杉並区女性福祉資金貸付条例				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 同施行規則								
	配偶者がいないか、配偶者がいてもその扶養を受けられない区内在住の女性。				(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				女性が経済的に自立して、社会的に安定した生活を図るため、借受資格等の審査のうえ、事業継続資金など11種類の資金を貸付ける。貸付け後、種類に応じて債権を管理する。					活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				女性が経済的に自立することで生活意欲の助長を図り、社会的に安定した生活を維持する。					成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				資金貸付により、生活の安定を図ることは直接的な地域福祉施策である。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		件	34		37		42		37		55			
	活動指標(2)		千円	24,906		24,933		33,559		23,612		33,839			
	成果指標(1)		%	26		21				24					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	24,986		24,996		33,657		23,679		33,938		特記事項	
	(内)委託費		千円												
	職員数(正規 非常勤)		人	0.90	0.00	0.70	0.00	1.03	0.00	0.77	0.00	0.77	0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,166		6,351		9,347		6,988		6,988		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	33,152		31,347		43,004		30,667		40,926			
	単位あたりコスト ÷		円	975,050		847,219		1,023,911		828,831		744,105			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	33,152		31,347		43,004		30,667		40,926				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		(単位:千円) S50年度 貸付38件 貸付額17,392 償還額15,375 H13年度 貸付37件 貸付額23,612 償還額132(過年度分20,300) 不納欠損額3,800 (開始当初からの累計)貸付997件 完納697件 貸付額746,362 償還額539,908												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		保証人の居住用件を撤廃してほしい												
	今後の予測		長期化する不景気のため自己破産申立者が続出。また、償還期間が長引くことにより借受人、保証人も高齢化しているため、生活を優先させると返済にまで手が回らないという悪循環を生み出しており、不良債権が増えるのではないかと予測される。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		災害甲慰金・災害障害見舞金				整理番号	281		枝番号		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	900104	連絡先電話番号	1355		昨年度整理番号	290	
係名		地域福祉係			上位施策名				NO		
予算事業名		災害甲慰金の支給等		コード	37050	地域福祉の基盤整備				35	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		49 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 災害甲慰金の支給等に関する法律第3条・8条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区災害甲慰金の支給等に関する条例						
	自然災害により死亡した区民の遺族及び精神又は身体に著しい障害を受けた区民。		(3) 同施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)								
	自然災害により死亡した区民の遺族及び精神又は身体に著しい障害を受けた区民に対し、災害甲慰金又は災害援護障害見舞金を支給する。		(1) 受給者数								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)									
被災者の遺族に災害甲慰金を支給し弔意を表し、障害を受けた被災者に障害見舞金を支給し、生活の安定を図る。		(1) 受給者数 ÷ 受給対象者数									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		(2)									
被災者等に甲慰金等を支給することにより、被災者等を災害から保護する。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績		年度	
指標	活動指標 (1)		人	0	0	1	0	1			
	活動指標 (2)										
	成果指標 (1)		%	0	0	100	0	100			
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	1	0	1	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	91	91	91	91	91		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	91	91	92	91	92			
	単位あたりコスト ÷		円			91,750		91,750			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	91	91	92	91	92				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		災害救助法に基づく救助が適用された災害等が発生していないため、災害甲慰金・災害障害見舞金の支給実績がない。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)										
	今後の予測										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		災害見舞金				整理番号	282		枝番号				
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	900104	連絡先電話番号	1355		昨年度整理番号	291			
係名		地域福祉係			上位施策名				NO				
予算事業名		災害見舞金		コード	37150		地域福祉の基盤整備			35			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区小災害被災者援護措置要綱						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)								
	火災、風水害等により被災した区内居住者及び事業主		(3)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		火災、風水害等の小災害による被災者に災害見舞金等を支給する。(合わせて、日本赤十字社からの見舞品等を支給する。)		活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		災害見舞金品を支給することにより、被災者に対し、応急的な援護を行う。		成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		応急的な援護を行うことにより、当面の生活を確保し、被災者を災害から保護する。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		世帯	100	66	111	44	111					
	活動指標(2)		所	94	0	0	9	0					
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100					
	成果指標(2)		%	100	0	0	100	0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,854	1,850	3,358	1,480	3,358	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.88	0.00	0.93	0.00	0.80	0.00	0.35	0.00	0.35	0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,984	8,438	7,260	3,176	3,176				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	11,838	10,288	10,618	4,656	6,534					
	単位あたりコスト ÷		円	118,382	155,877	95,658	105,824	58,867					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	11,838	10,288	10,618	4,656	6,534						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		見舞金支給件数 昭和36年(96)、昭和60年(133)、平成12年(66)、平成13年(53)										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		知人・親類が近隣に居住しておらず、被災者の自助努力により一時宿泊場所を確保できず、区での対応を望む声がある。										
	今後の予測		災害のため予測は難しい。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一時避難所の設置				整理番号	283		枝番号			
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	900104	連絡先電話番号	1355		昨年度整理番号	292		
係名		地域福祉係			上位施策名				NO			
予算事業名		災害見舞金		コード	37150		地域福祉の基盤整備				35	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 杉並区小災害被災者援護措置要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	火災、風水害等により被災した区内居住者及び事業主		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)									
	災害救助法の適用を受けない小災害発生時において、学校及び区民事務所を利用し、一時避難所を設置する。		(1) 一時避難所設置数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)										
小災害発生時に一時避難所を設置し、被災者の生活場所を確保する。		(1) 一時避難所への避難者数										
		(2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
生活場所を確保することにより、被災による不安を軽減し、生活を安定させる。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標 (1)		所	0	0	1	0	1				
	活動指標 (2)											
	成果指標 (1)		人	0	0	50	0	50				
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	2	0	2	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	91	91	91	91	91			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	91	91	93	91	93				
	単位あたりコスト ÷		円			92,750		92,750				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	91	91	93	91	93					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		実績なし。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		実績がないため、特になし。									
	今後の予測		災害のため予測は難しい。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉事務所改築 東福祉事務所				整理番号	327		枝番号		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101	連絡先電話番号	1353		昨年度整理番号	346	
係名		庶務係			上位施策名				NO		
予算事業名		福祉事務所改築			コード	20200		地域福祉の基盤整備			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		10 年度		根拠法令等				
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 14 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 社会福祉法14条 (2) (3)				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		施設建設地(高円寺南二丁目24番)、施設利用者(管轄内の区民)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		老朽化した福祉事務所を改築する。10～11年度基本・実施設計が完了し、12～13年度建設工事を行い、14年2月移転開設した。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		老朽化した福祉事務所を利便性の良い高円寺へ移転改築し、福祉サービス環境の充実を図る。				成果指標名(式)				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		「地域の『共に生きる』福祉基盤を育てるため」の根拠として貢献する。								
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		13年度			
指標	活動指標(1)		m ²	1,186	1,186	1,186	1,186	0	1,186	100.0	
	活動指標(2)		%		35	100	100	0	100	100.0	
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	18,291	225,995	309,679	302,477	26,386	特記事項		
	(内)委託費		千円						平成10年～14年度 建設年度12～13年度 総事業費 577,530 14年度は、東福祉事務所・職員防災住宅用地取得交換 差金		
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40	0.60	0.60	0.90	0.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,629	5,444	5,445	8,168			1,815
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	21,920	231,439	315,124	310,645	28,201			
	単位あたりコスト ÷		円	18,482	195,142	265,703	261,927				
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	21,920	231,439	315,124	310,645	28,201				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区の内部に設計審査会が設置されたことにより、建設経費の適正化が図られるようになった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		住民説明会を通じて、要望について出来る限り取り入れた。								
	今後の予測		介護保険の導入をはじめ、社会福祉法の改正など社会福祉基礎構造改革の進む中で、福祉事務所の機能がより効果的かつ効率的に発揮できる体制づくりが求められている。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉事務所改築 西福祉事務所				整理番号	328		枝番号						
所属部課名 保健福祉部管理課		コード	090101		連絡先電話番号	1353		昨年度整理番号	347						
係名 庶務係		上位施策名						NO							
予算事業名 福祉事務所改築		コード	20200		地域福祉の基盤整備				35						
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		10 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 15 年度		(1) 社会福祉法14条								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)										
	施設建設地 (荻窪五丁目15番)、施設利用者 (管内の区民)		(3)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)												
老朽化した福祉事務所を改築する。10～11年度基本・実施設計が完了し、13～15年度建設工事を行う。		(1)		延床面積		(2)		出来高							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)													
老朽化した福祉事務所を利便性の良い高円寺へ移転改築し、福祉サービス環境の充実を図る。なお、施設は、児童館・消費者センター・環境センター・リサイクルセンター・自転車駐車場との併設施設とする。		(1)				(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
「地域の『共に生きる』福祉基盤を育てるため」の根拠として貢献する。また、複合施設として地域住民への利便性に寄与している。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		15年度				
指標	活動指標 (1)		m ²	1,084		1,084		1,084		1,084		100.0			
	活動指標 (2)		%					9		10		44	9.8		
	成果指標 (1)														
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	33,435		1,991,936		209,175		190,973		589,171		特記事項	
	(内)委託費		千円											平成10～15年度 建設年度13～15年度 総事業費 2,809,319	
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.40		0.40		0.30		0.50		0.90			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,629		3,629		2,723		4,538		8,168		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	37,064		1,995,565		211,898		195,510		597,339			
	単位あたりコスト ÷		円	34,192		1,840,927		195,477		180,360		551,050			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国 都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	37,064		1,995,565		211,898		195,510		597,339				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区の内部に設計審査会が設置されたことにより、建設経費の適正化が図られるようになった。なお、平成12年度に工事開始お予定であったが、財政状況等の事情から工事の開始が先送りになったが13年度より工事が着工した。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		住民説明会、要望書を通じて、会議室 屋上の利用や緑化について要望どおりできるだけ反映した。												
	今後の予測		介護保険の導入をはじめ、社会福祉法の改正など社会福祉基礎構造改革の進む中で、福祉事務所の機能がより効果的かつ効率的に発揮できる体制づくりが求められている。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		障害者集会施設				整理番号	329		枝番号						
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101	連絡先電話番号	1353		昨年度整理番号	349					
係名		庶務係			上位施策名				NO						
予算事業名		障害者集会施設建設		コード	20200		障害者の社会参加や就労機会の拡大			33					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		10 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 13 年度		(1)								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)										
	施設建設地		(高円寺南二丁目24番)、施設利用者(障害者・ボランティア)				(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		社会参加活動への支援として施設を建設する。10～11年度基本・実施設計が完了し、12～13年度建設工事を行い、14年3月開設した。				活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		障害者の交流、自主的な活動の場や訓練の場として建設し、社会参加の促進が図られる。				成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 障害者の自立と社会参加が促進できる。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画	実績			13年度				
指標	活動指標(1)		m ²	479		479		479	479	0		479	100.0		
	活動指標(2)		%			35		100	100	0		100	100.0		
	成果指標(1)														
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,365		87,549		130,674		125,206		0		特記事項	
	(内)委託費		千円											平成10～13年度 建設年度12～13年度 総事業費 221,872	
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30		0.60		0.50		0.80		0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,722		5,444		4,538		7,260		0		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	10,087		92,993		135,212		132,466		0			
	単位あたりコスト ÷		円	21,058		194,139		282,279		276,547					
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国都等からの支出金		千円	0		21,000		0		43,585		0		
		特定財源計 +		千円	0		21,000		0		43,585		0		
差引:一般財源 -		千円	10,087		71,993		135,212		88,881		0				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区の内部に設計審査会が設置されたことにより、建設経費の適正化が図られるようになった。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		障害者団体から、施設建設の早期開設の要望あり。障害者団体連合会より、管理運営に関する要望書あり。												
	今後の予測		障害者の社会参加の充実。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		法外援護				整理番号	330		枝番号			
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101	連絡先電話番号	1343		昨年度整理番号	350		
係名		庶務係				上位施策名			NO			
予算事業名		被保護世帯に対する法外援護		コード	34800	生活の安定と自立への支援			36			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区生活保護世帯に対する法外援護事業要綱					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	生活保護法による被保護世帯		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)									
	居室の被保護世帯のうち自家風呂がない世帯及びこれに準ずる世帯で公衆浴場を利用するものに対し入浴料を補助するため一人あたり一年分として60枚を支給する。また児童・生徒に対し子供の健全育成をはかり、自立の助長に寄与する事を目的とする学童服・運動衣代、夏季健全育成費、修学旅行参加費、中学校卒業自立援助金を支給する。		(1) 入浴券支給延人数 (2) 支給項目ごとの該当児童・生徒数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)										
公衆浴場で入浴をし、心身の健康を得る事により働く意欲が向上し、生活保護から自立をしようとする。また、夏季健全育成費等を支給する事により子供が心身ともに豊かに成長し自立への意欲が向上する。		(1) 就職活動をするなど自立しようとした世帯数 (2) 支給対象児童・生徒のうち健全に成長している人数										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		健康で文化的な生活を営む事により、生活保護からの自立を助長している。また、子供が心豊かに成長する事により自立への意欲を向上させている。										
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標 (1)	人	1,412	1,412	1,472	1,448	1,656					
	活動指標 (2)	人	171	179	229	283	368					
	成果指標 (1)											
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	32,264	33,423	35,542	35,353	40,531	特記事項			
	(内)委託費		千円						夏季健全育成費等の活動指標は前年度まで被保護世帯の児童・生徒数を示していたが、今年度は支給項目ごとの該当児童・生徒数で示した。			
	職員数 (正規 非常勤)		人	1.20	1.54	1.64	1.64	1.63				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	10,888	13,972	14,883	14,883	14,792				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	43,152	47,395	50,425	50,236	55,323				
	単位あたりコスト ÷		円	30,561	33,566	34,256	34,693	33,408				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0	
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0	
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	43,152	47,395	50,425	50,236	55,323					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		景気回復の遅れや、雇用情勢の悪化が続いており、14年5月の杉並区の保護率は7.4%となっている。中でも子供のいる世帯の保護受給が増えており、教育扶助費の伸び率が約1.5と急激に伸びている。事業開始当時に比べると自家風呂のある世帯が増えているが、日常生活を送る上で必要な入浴料や、子供が成長する過程の中でかかる多額の費用を少しでも補助している役割は大きい。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情など)		入浴券の配付の時期になると、電話での問い合わせも多く、対象者にとっての事業の重要さがつかえる。									
	今後の予測		景気回復の遅れや、雇用情勢の悪化はしばらく続くと考えられる。被保護世帯は高齢世帯や疾病世帯が多い。それにより、再就職が難しい状況である。また、精神障害やアルコール依存症等処遇困難ケースも多く、生活保護受給の長期化が今後も続く予測される。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生活保護費（特別見舞金）				整理番号	332		枝番号		
所属部課名 保健福祉部管理課		コード	090101		連絡先電話番号	1343		昨年度整理番号			
係名 庶務係		上位施策名						NO			
予算事業名 生活保護費		コード	35000		生活の安定と自立への支援				36		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		50年度		根拠法令等				
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		生活保護法による被保護世帯		(1) 平成13年度生活保護世帯に対する見舞金支給事務要綱 (2) (3)				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		世帯構成人数に応じ夏と冬の年二回に支給する。				活動指標名（式）				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		被保護世帯に対し見舞金を支給することにより、激励と日頃の自立更生の努力をねぎらい、世帯の自立を助長する。				成果指標名（式）				
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				(1) 夏季 冬季見舞金支給世帯数 (2)					
		夏季・冬季（盆・暮れ）の臨時的な出費の多い時期の家計の負担を軽減する事で、心豊かで文化的な生活を営めるよう支援している。				(1) 前年比 (2)					
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	世帯	4,223	4,764	4,828	5,505	5,594				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	112	113	101	116	102				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17,036	18,604	18,925	21,486	21,872	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	1.02	1.18	1.38	1.38	1.36			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,254	10,706	12,524	12,524	12,342			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	26,290	29,310	31,449	34,010	34,214			
	単位あたりコスト ÷		円	6,226	6,152	6,514	6,178	6,116			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国都等からの支出金		千円	16,789	18,954	19,292	21,892	22,297		
		特定財源計 +		千円	16,789	18,954	19,292	21,892	22,297		
差引:一般財源 -		千円	9,501	10,356	12,157	12,118	11,917				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区における生活保護の動向をみると、11年度5.5%（1000人中5.5人）、12年度6.2%、13年度7.3%となっている。企業の倒産やリストラにより高齢者世帯だけでなく、子供のいる世帯の保護受給も増えている。								
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待、要望、苦情など）		支給の時期になると、問い合わせも多く関心が寄せられている。								
	今後の予測		今後もしばらくは景気や雇用情勢の悪化が続くと思われる。生活保護受給世帯はほとんどが高齢世帯であり、また、処遇困難ケースも多いため、再就職は難しい。保護の長期化、保護受給の増加は続く予測される。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		少子化対策臨時特例交付金事業（区立保育園施設設備整備）		整理番号	390	枝番号	1	
所属部課名 保健福祉部管理課		コード	090101	連絡先電話番号	1353	昨年度整理番号	415	
係名 計画推進担当		上位施策名				NO		
予算事業名 保育園改修		コード	40170	保育の充実				24
事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 13年度		(1) 平成11年度少子化対策特例交付金実施要綱				
対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区立保育園 4 4園		(2)				
				(3)				
事務事業の概要	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名（式）					
	区立保育園用食器等検討会報告書に基づき、保育園で使用する食器を強化磁器製に入れ替えるために、調理室備品（保管庫等）・消耗品（食器等）を購入した。また、調理室が狭隘等の理由により、保管庫等の買い替えが困難な保育園の内4園について改修を行い、強化磁器食器に対応した保管庫等を設置するとともに、調理室の環境改善を図った。		(1) 強化磁器食器等購入保育園数					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名（式）					
	区立保育園全園に強化磁器食器を導入し、子どもたちに安全で安心できる食事を提供できる。		(1) 強化磁器食器導入率 区立保育園数 ÷ 強化磁器食器購入園数					
				(2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか								
強化磁器食器の導入により、子どもたちへの安全で安心できる食事を提供できる保育環境が改善された。								

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度				14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績	13年度	13年度							
指標	活動指標(1)	園			44	44			44	100.0				
	活動指標(2)	園			4	4			4	100.0				
	成果指標(1)	%			100	100			100	100.0				
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円			90,303	84,369			特記事項					
	(内)委託費	千円			0	0			国 都等からの支出金は、少子化対策臨時特例交付金である。					
	職員数(正規 非常勤)	人			0.40	0.00	0.40	0.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	3,630	3,630					0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					0		
	総事業費 + +	千円	0	0	93,933	87,999		0						
	単位あたりコスト ÷	円			2,134,841	1,999,977								
	財源	受益者負担分	千円			0	0							
		国 都等からの支出金	千円			90,303	84,368							
		特定財源計 +	千円	0	0	90,303	84,368					0		
差引：一般財源 -		千円	0	0	3,630	3,631		0						
受益者負担比率 ÷	%				0.0	0.0								

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	保育園における食事は、子どもたちの順調な発育・発達に欠くことができない重要なものである。将来のよい食事習慣を養う大切な活動である。食事を楽しいものにするためには、その内容とともに、使用される食器類が、子どもたちにとって使いやすく、安全なものを使用する。
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	平成11年度には、学校給食の食器についての検討が行われ「食器の材質を強化磁器とする。」という内容の報告書がまとめられ、平成12年度から区立小中学校では強化磁器食器の導入が始まった。また、環境についての関心が高まる中で、食器の材質の安全性に関して様々な論議もされている。
	今後の予測	子どもたちに快適な食事を提供するという観点から、適当な時期に食器のあり方に注意を傾け、検討を行う必要がある。

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		少子化対策臨時特例交付金事業（桃井グループ保育室設置）				整理番号	390		枝番号	2		
所属部課名 保健福祉部管理課			コード	090101		連絡先電話番号	1353		昨年度整理番号			
係名 計画推進担当					上位施策名					NO		
予算事業名 少子化対策臨時特例交付金事業			コード	40170		保育の充実					24	
事務事業の概要	事業開始年度 ○ 昭和 ● 平成 13 年度			根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 ○ 無 ● 有 平成 13 年度			(1) 平成11年度少子化対策椿事特例交付金実施要綱								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 桃井グループ保育室（旧桃井児童館）			(2)								
				(3)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区が遊休施設（旧桃井児童館）を改修（工事）・整備（備品購入等）し、グループ保育室として整備した。					活動指標名（式）						
						(1) グループ保育室延べ床面積						
					(2) 予定定員数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 保育者グループによる、工夫ある保育によって、保育需要の高い乳幼児の児童福祉に貢献できる施設に整備する。					成果指標名（式）							
					(1) グループ保育室整備数							
					(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 乳幼児保育の選択肢のひとつとして整備することで、保護者からは高い評価を得られる。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績	計画		13年度			
指標	活動指標(1)		m ²			165	165		165	100.0		
	活動指標(2)		%			15	15		100	15.0		
	成果指標(1)		所			1	1		1	100.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			36,654	36,654		特記事項			
	(内)委託費		千円			0	0		国 都等からの支出金は、少子化対策臨時特例交付金である。			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.40	0.00	0.40				0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	3,630	3,630				0
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 ++		千円	0	0	40,284	40,284	0				
	単位あたりコスト ÷		円			244,086	244,086					
	財源	受益者負担分		千円			0	0				
		国 都等からの支出金		千円			28,427	36,654				
		特定財源計 +		千円	0	0	28,427	36,654				0
差引：一般財源 -		千円	0	0	11,857	3,630	0					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並区実施計画に基づく計画事業として、施設の改修 整備を行った。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		区民からは、乳児を中心とした待機児童の解消を望む声強い。									
	今後の予測		保育園の待機児童の動向や桃井グループ保育室の運営状況をみながら、運営を委託することができる保育者グループがあれば、新たな施設の整備が必要となる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館改築（荻窪北児童館）				整理番号	391		枝番号	1					
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101		連絡先電話番号	1348		昨年度整理番号	416				
係名 庶務係				上位施策名				NO							
予算事業名		児童館改築		コード	40190		子どもの育成環境の整備				28				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業										
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 15 年度				(1) 児童福祉法第6条の2、第35条、第45条、同法施行令第1条他										
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 児童館				(2) 児童福祉施設最低基準										
					(3) 児童館の設置運営について(厚生事務次官通知)他										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 現荻窪児童館（荻窪北学童クラブ含む）が狭いため移転改築をすする。平成10年度から平成11年度で設計完了、平成13年度9月工事着手、平成16年1月竣工予定				活動指標名（式）										
				(1) 延べ床面積											
				(2) 工事出来高											
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 規模の拡充と中・高校生対応設備等の充実を図り、地域における児童館事業の中核となる児童館とする。				成果指標名（式）											
				(1)											
				(2)											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 荻窪駅近くの好立地や中・高校生対応設備の充実等により、中・高校生の利用の増加や、幅広い年齢層を対象とした多様な児童健全育成事業の実施など、地域における児童健全育成事業の中核としての機能を果たす。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績	計画		15年度				
指標	活動指標(1)		m ²	1546	1546	1546	1546	1546	1546		1546	100.0			
	活動指標(2)		%			30	9.8	44		100	9.8				
	成果指標(1)														
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,097	0	158,722	145,223	139,796		特記事項					
	(内)委託費		千円			2,324	2,147	996		平成10～15年度 総事業費707,851千円					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.40		0.15		0.20					0.43		1.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	3,629	1,361	1,815	3,902	9,075						
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	18,726	1,361	160,537	149,125	148,871							
	単位あたりコスト ÷		円	12,113	880	103,840	96,459	96,294							
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円			16,138	16,138	16,138						
		特定財源計 +		千円	0	0	16,138	16,138	16,138						
差引:一般財源 -		千円	18,726	1,361	144,399	132,987	132,733								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		設計審査会が設置され、建設経費の適正化が図られた。また、建設工事期間中は荻窪5丁目複合施設事務連絡会により関係部署との調整を行って工事を進めている。 学校選択制が検討されるなど、今後の児童館、学童クラブの配置・定員計画に影響を与える要素が生じてきているなかで、既に地域によっては多くの待機児童が存在する学童クラブが発生してきている。また、障害児対応の学童クラブのニーズも高まっている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		現荻窪北児童館を利用している父母を中心に設備や運営など幅広い分野に多数の要望が出され、学童クラブ待機児童の解消や、障害児の受け入れなど上げられた。 また、乳幼児やその父母を対象とした遊戯や交流の場の設置も要望としてあった。												
	今後の予測		最近の保育園児の傾向として途中退園が比較的小さくなっていることを踏まえると、今後、小学校入学後も引き続き学童クラブを希望する児童が増えていくと思われる。また、学校選択制が導入された場合に特定の学童クラブへの入所希望者が著しく増加することも予想されるため、今後の改築には簡易な方法で柔軟に学童クラブ室の拡張が図られるような配慮を求められ、また、福祉のまちづくり条例に基づき障害児(者)にも利用しやすい施設整備も求められていく。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		児童館改築（荻窪児童館）				整理番号	391		枝番号	2		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101		連絡先電話番号	1353		昨年度整理番号		
係名 庶務係				上位施策名				NO				
予算事業名		児童館改築		コード	40190		子どもの育成環境の整備				28	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 15年度				(1) 児童福祉法第6条の2、第35条、第45条、同法施行令第1条他							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 荻窪児童館				(2) 児童福祉施設最低基準							
					(3) 児童館の設置運営について(厚生事務次官通知)他							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 現荻窪児童館（荻窪学童クラブ含む）が狭いため移転改築をする。該当児童館は、都営住宅1階部分に建築されるため、設計・建築を東京都住宅局に委託する。 平成13年度 設計 平成14年度 工事着手、平成15年度 竣工予定				活動指標名（式）							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 現在都営住宅敷地内に存在する荻窪児童館を、当該都営住宅を含む都営西田第三住宅の建替計画に伴い、小規模・狭隘な児童館を当該団地内に移転改築する。				成果指標名（式）								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 小規模で狭い荻窪児童館を移転改築することで、利用者数の増加を図り、より多くの児童の健全育成に寄与する。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績	計画		15年度			
指標	活動指標(1)		m ²			600	600	600		600	100.0	
	活動指標(2)		%			5	0	65		100	0.0	
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			81,909	74,803	73,766		特記事項		
	(内)委託費		千円			81,909	74,803	73,733		平成13～15年度 総事業費277,947千円		
	職員数(正規 非常勤)		人			0.10	0.10	0.40				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	908	908	3,630			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	82,817	75,711	77,396				
	単位あたりコスト ÷		円			138,028	126,184	128,993				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円			0	0	25,684			
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	25,684			
差引：一般財源 -		千円	0	0	82,817	75,711	51,712					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		東京都において基本設計が行われ、区側に協議の依頼があった。実施設計にあたっては、連絡会を設置して、関係部署との調整を進めている。また、学校選択制が検討されるなど、今後の児童館・学童クラブの配置・定員計画に影響を与える要素が生じてきているなかで、既に地域によっては多くの待機児童が存在する学童クラブが発生してきている。また、障害児対応の学童クラブのニーズも高まっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		現荻窪児童館・学童クラブを利用している子どもたちの保護者を中心に設備や運営など幅広い分野に多数の要望が出された。さらに、周辺住民も含め、工事期間中の安全確保などについても要望が出された。また、乳幼児やその保護者を対象とした遊戯や交流の場の設置も要望としてあった。									
	今後の予測		最近の保育園児の傾向として、途中退園が比較的低くなってきている。このことから、今後就学後も引き続き学童クラブを希望する児童が増えていくと思われ、さらに学校選択制が導入された場合に、特定の学童クラブへの入所希望者が著しく増加することも予想される。今後の改築には簡易な方法で柔軟に学童クラブ室の拡張が図られるような配慮を求められる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保育園改築（高井戸保育園）				整理番号	401		枝番号	1				
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101		連絡先電話番号	1348		昨年度整理番号	427			
係名 庶務係				上位施策名				NO						
予算事業名 保育園改築				コード 40320				保育の充実				24		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 15年度				(1) 児童福祉法第35条、第45条、同法施行令第21条									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 高井戸保育園に入園している、又は今後入園する児童・保護者				(2) 児童福祉施設最低基準 (3) 地方自治法第244条の2 他									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 都営住宅の改築にあわせ、既存の都営住宅に併設されている高井戸保育園を、より高井戸駅に近い位置に建設される都営住宅棟の下層に合築して改築する。 東京都住宅局に設計及び工事を委託する。平成12年度設計、平成13～15年度工事、平成15年度開設予定。				活動指標名（式） (1) 延べ床面積 (2) 工事出来高									
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 老朽、狭隘な高井戸保育園を併設都営住宅の建て替えにあわせて、より高井戸駅に近い立地に移転改築し、施設・定員規模の拡大等を図る。				成果指標名（式） (1) (2)									
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高井戸保育園改築計画は、改築により施設規模を拡大し産休明け保育を実施する予定である。さらに、高井戸駅により近接する好立地とあいまって、高井戸駅周辺だけでなく一定の範囲の入所待機児を一定数解消できるものと想定している。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			15年度			
指標	活動指標(1)		m ²			650		650	650	650		650	100.0	
	活動指標(2)		%					30	6	50		100	6.1	
	成果指標(1)													
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円			4,798		134,609	134,585	124,290		特記事項		
	(内)委託費		千円			4,798		134,609	134,583	124,246		平成12～15年度 総事業費287,868千円		
	職員数(正規 非常勤)		人			0.45		0.20		0.40		1.00		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0		4,083		1,815	3,630	9,075			
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0		8,881		136,424	138,215	133,365				
	単位あたりコスト ÷		円			13,663		209,883	212,638	205,177				
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円					30,354	30,354	45,532			
		特定財源計 +		千円	0		0		30,354	30,354	45,532			
差引：一般財源 -		千円	0		8,881		106,070	107,861	87,833					
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度～13年度にかけて保育所にかかる設置 経営主体にかかる規制の緩和や地方自治法第24条の2による公の施設の管理委託先にかかる規制緩和、東京都の認証保育所制度実施、男女共同参画会議の専門調査会提言(平成16年度まで定員15万人増)など、保育を取り巻く環境が激変している。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		全区的に低年齢児を中心に入所待機児の解消についての要望が強い。 また、延長保育や一時保育など多様な保育へのニーズも高い。											
	今後の予測		併設都営住宅団地の建て替えにより、都営住宅にファミリータイプの住戸が増え、建て替え完了後には子育て世代の家族が相当数入居してくる可能性が高い。 また、近年、高井戸 浜山山両駅周辺地域では乳幼児人口が増加傾向にあるので、改築後の保育園がより駅に近くなるなどの条件が重なり、都営団地外からの需要も相当数あるものと予想される。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保育園改築（高円寺北保育園）				整理番号	401		枝番号	2		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101		連絡先電話番号	1353		昨年度整理番号		
係名 庶務係				上位施策名				NO				
予算事業名 保育園改築				コード		40320		保育の充実				24
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 18 年度				(1) 児童福祉法第35条、第45条、同法施行令第21条							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 高円寺北保育園に入園している、又は今後入園する児童・保護者				(2) 児童福祉施設最低基準							
					(3) 地方自治法第244条の2 他							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 併設施設の高円寺会館の建て替えとともに改築する。改築期間中は、高円寺北1丁目（予定）に設置される仮設施設で運営する。平成13年度は改築用地として、隣地を取得した。平成15年度設計・仮設施設へ移転、平成16～18年度工事、平成18年度開設の予定だが、PFI方式導入等による建て替えも検討する。				活動指標名（式）							
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 老朽、狭隘な高円寺北保育園を併設高円寺会館の建て替えにあわせて改築し、施設・定員規模の拡大等を図る。				成果指標名（式）							
				(1) 取得面積								
				(2)								
				(1) 敷地面積（隣地取得後）								
				(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 改築により施設規模が拡大する。JR高円寺駅に近いという好条件もあいまって、高円寺周辺だけでなくより広い地域での入所待機児の解消に寄与することが予想される。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績	計画		18年度			
指標	活動指標(1)		m ²			709	709		709	100.0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		m ²			1,774	1,774		1,774	100.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			446,739	446,739		特記事項			
	(内)委託費		千円						平成13～18年度 総事業費(予定) 857,287千円 (PF方式導入等手法の変更により変わる可能性がある)			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.00	0.10	0.10				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	908	908				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	0	0	446,739	447,647	908				
	単位あたりコスト ÷		円			630,097	631,377					
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0	
差引:一般財源 -		千円	0	0	446,739	447,647	908					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度～13年度にかけて保育所にかかる設置・経営主体にかかる規制の緩和や地方自治法第24条の2による公の施設の管理委託先にかかる規制緩和、東京都の認証保育所制度実施、男女共同参画会議の専門調査会提言(平成16年度まで定員15万人増)など、保育を取り巻く環境が激変している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		全区的に低年齢児を中心に入所待機児の解消についての要望が強い。									
	今後の予測		JR高円寺駅に近いという好立地もあいまって、駅周辺だけでなくより広い地域での需要が相当数にのぼることが予想される。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保育園改修（四宮保育園）				整理番号	401		枝番号	3		
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101		連絡先電話番号	1346		昨年度整理番号		
係名 庶務係				上位施策名				NO				
予算事業名 保育園改修				コード		40320		保育の充実				24
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 14 年度				(1) 児童福祉法第35条							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 四宮保育園				(2) 児童福祉施設最低基準							
					(3) 建築物の耐震改修の促進に関する法律及び同施行令							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 平成13年度に、耐震補強・施設改修に係る設計を行い、平成14年度に工事を実施する。				活動指標名（式）				(1) 設計出来高			
								(2) 工事出来高				
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 施設の耐震性能向上を図るとともに、強化磁器食器の導入のために狭隘な調理室を改修するなど、施設の改善を行うことにより保育環境の充実を図る。				成果指標名（式）				(1)				
								(2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 耐震補強による、施設の耐震性向上のほかに、施設の改善を行うことで保育環境の充実を図る。												
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		14年度	年度				
指標	活動指標(1)	%			100	100	0	100	100.0			
	活動指標(2)	%			0	0	100	100	0.0			
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円			3,147	2,810	32,741	特記事項				
	(内)委託費	千円			3,120	2,783	0					
	職員数(正規 非常勤)	人			0.20	0.20	0.40					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,815	1,815	3,630				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	0	0	4,962	4,625	36,371					
	単位あたりコスト ÷	円			49,620	46,250						
	財源	受益者負担分	千円									
		国 都等からの支出金	千円									
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引：一般財源 -		千円	0	0	4,962	4,625	36,371					
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	昭和42年開園以来、築35年を超え、平成8年に実施した耐震診断において、問題ありの指摘を受けている。 行政計画に基づき、平成13年度に設計、平成14年度には補強工事が実施される。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	安全で安心して子どもたちを預けられる保育所を望む声は強い。										
	今後の予測	平成8年度に耐震診断を実施した結果、問題ありと判断された保育園について、建替予定の園を除いて、平成15年度で補強改修は終了する。 前回の診断から、すでに5年が経過しており 新たに改修の必要がある施設がでてくると考えられる。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		区・医師会・歯科医師会との連絡会				整理番号	413		枝番号			
所属部課名		保健福祉部管理課		コード	090101	連絡先電話番号	1342		昨年度整理番号	454		
係名 庶務係				上位施策名				NO				
予算事業名 庶務係				健康なまちづくりの推進				22				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 53 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区保健福祉連絡会設置要綱							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区医師会、杉並区歯科医師会				(2) 杉並区歯科衛生連絡会設置要綱							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区医師会との間で開催する保健福祉連絡会を年11回、杉並区歯科医師会との間で開催する歯科衛生連絡会を年3回の割合で開催する。				活動指標名(式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 保健福祉連絡会、歯科衛生連絡会を開催することにより、諸課題の解決や連絡調整機能を充実させる。				成果指標名(式)							
				(1) 保健福祉連絡会開催回数								
				(2) 歯科衛生連絡会開催回数								
				(1) (代)保健福祉連絡会開催回数								
				(2) (代)歯科衛生連絡会開催回数								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
医師会及び歯科医師会との間で、保健福祉連絡会、歯科衛生連絡会を開催し、保健医療情報の迅速な連絡体制を確立することにより、保健衛生事業の円滑な推進が図られる。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		回	11	11	11	10	11				
	活動指標(2)		回	2	3	3	2	3				
	成果指標(1)		回	11	11	11	10	11				
	成果指標(2)		回	2	3	3	2	3				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9	9	9	9	9	特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815	1,815	1,815	1,815	1,815			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	1,824	1,824	1,824	1,824	1,824				
	単位あたりコスト ÷		円	165,782	165,782	165,818	182,400	165,818				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	1,824	1,824	1,824	1,824	1,824					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		連絡会の開催回数については変動はないが、杉並区医師会との保健福祉連絡会は、13年度から健康推進課に替わり保健福祉部管理課所管の部一般管理事業に移行した。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		特になし。									
	今後の予測		現状の施策に関して、今後大きな変動はない。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		管理関係事務（庶務事務）				整理番号	960		枝番号			
所属部課名 保健福祉部国民健康保険課		コード	090501		連絡先電話番号	1232		昨年度整理番号	1000			
係名 管理係		上位施策名				NO						
予算事業名 一般事務		コード	91030		国民健康保険の運営				37			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 国民健康保険法							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区国民健康保険条例									
	杉並区在住の国民健康保険加入者および国民健康保険事務に従事している職員		(3)									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				活動指標名（式）							
	国民健康保険事業運営に要する一般事務経費の執行管理				(1) 職員数							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				成果指標名（式）								
				(1)								
				(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人	73	73		75	76				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	27,582	25,737	27,398	27,034	29,291	特記事項			
	（内）委託費		千円	6,279	6,206	6,560	6,302	6,305				
	職員数（正規 非常勤）		人	3.82	2.28	3.13	3.13	3.13				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	34,659	20,686	28,405	28,405	28,405			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	62,241	46,423	55,803	55,439	57,696				
	単位あたりコスト ÷		円	852,615	635,938		739,183	759,155				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 -		千円	62,241	46,423	55,803	55,439	57,696					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		国保制度発足時と比較し、被保険者は増加しており それに伴って事務経費も増加している。									
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待 要望 苦情など）		事務経費なので特に住民からの意見等はない。									
	今後の予測		高齢化や就業構造の変化に伴う無職者等の被保険者の増加に伴い、事務経費については今後も増加が予測される。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		資格賦課関係事務				整理番号	961		枝番号					
所属部課名		保健福祉部国民健康保険課		コード			連絡先電話番号	1236		昨年度整理番号	1001			
係名				資格賦課係		上位施策名				NO				
予算事業名				一般事務		コード	91030		国民健康保険の運営					
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		34 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 国民健康保険法					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区国民健康保険条例					
	国民健康保険法第6条（適用除外）に規定するもの以外の杉並区民とその世帯								(3) 杉並区国民健康保険料徴収猶予及び減免事務処理要綱					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				国民健康保険の資格の取得及び喪失を把握し、被保険者証の交付、回収及び更新を行い並びに保険料の賦課及び減免を行う。				活動指標名（式）				(1) 国民健康保険加入平均世帯数	
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				上記対象者の国民健康保険の資格を適正に管理し、かつ保険料を適正に賦課する。				成果指標名（式）				(1) 1世帯あたりの保険料額	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び区民保険の向上に寄与する。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績			年度					
指標	活動指標(1)		世帯	117602	120805	125046	124038	128262						
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		円	121907	127130	129181	128338	129446						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	40,747	49,860	48,459	42,654	66,092		特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	8,806						
	職員数(正規 非常勤)		人	20.31	21.44	20.44	20.59	20.59						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	184,273	194,525	185,493	186,854	186,854					
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	225,020	244,385	233,952	229,508	252,946						
	単位あたりコスト ÷		円	1,913	2,023	1,871	1,850	1,972						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0					
		国 都等からの支出金		千円	225,020	244,385	233,952	229,508	252,946					
		特定財源計 +		千円	225,020	244,385	233,952	229,508	252,946					
差引:一般財源 -		千円	-0	0	0	0	0							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和34年4月 加入世帯数 35,048世帯(加入率 27.34%) 被保険者数 99,441人(加入率 21.43%) 平成14年4月 加入世帯数 124,324世帯(加入率 44.56%) 被保険者数 193,251人(加入率 37.20%)											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		保険料が高い。保険料の計算方法や擬制世帯制度がわかりにくい。											
	今後の予測		現在、厚生労働省で検討されている医療制度の抜本改革が実現されないと、保険料の一層の上昇は避けられず、区民の理解も得られなくなり、制度自体の維持ができなくなる。											

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		給付関係事務				整理番号	962		枝番号				
所属部課名		保健福祉部国民健康保険課		コード	90501		連絡先電話番号	1273		昨年度整理番号	1002		
係名 給付係				上位施策名				NO					
予算事業名 一般事務				コード 91030				国民健康保険の運営				37	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 34 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 国民健康保険法								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区の国民健康保険被保険者				(2) 国民健康保険条例								
					(3) 国民健康保険条例施行規則								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 給付事務遂行に必要な事務的経費の執行				活動指標名 (式)								
					(1) 給付 (支給) 件数								
				(2)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 給付が発生した被保険者に対し、円滑な事務処理により、法令で定められた給付を速やかに行う。				成果指標名 (式)									
				(1) 被保険者一人当たり給付件数 = 給付 (支給) 件数 / 平均被保険者数									
				(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び区民保険の向上に寄与する。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標 (1)		件	1,550,649	1,601,871		1,656,594						
	活動指標 (2)												
	成果指標 (1)		件	8	9		9						
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,779	2,981	4,080	3,233	4,203	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	907	907	908	908	908				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	3,686	3,888	4,988	4,141	5,111					
	単位あたりコスト ÷		円	2	2		2						
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円	3,686	3,888	4,988	4,141	5,111				
		特定財源計 +		千円	3,686	3,888	4,988	4,141	5,111				
差引 : 一般財源 -		千円	0	0	0	0	0						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		被保険者の増加などにより給付件数が増えている。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)												
	今後の予測		法改正により平成 14年 10月より 国民健康保険の対象者が段階的に増加することになり 今後も給付件数は増加が予測され、それに伴って給付事務も増加していく。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		収納関係事務				整理番号	963		枝番号				
所属部課名 保健福祉部国民健康保険課		コード	090504		連絡先電話番号	1243		昨年度整理番号	1003				
係名 収納係		上位施策名						NO					
予算事業名 一般事務		コード	91030		国民健康保険の運営				37				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 国民健康保険法						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区国民健康保険条例								
	国民健康保険被保険者世帯		(3) 杉並区国民健康保険条例施行規則										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		国民健康保険料の収納及び徴収並びに過誤納金の還付・充当を行う。				活動指標名 (式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		被保険者世帯に保険料が納付しやすい手段を提示し、保険料の収納を図る。				成果指標名 (式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって地域医療保険及び区民健康保持の向上に寄与する。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
指標	活動指標 (1)		千円	117,602	120,850	125,046		124,038		128,262			
	活動指標 (2)		千円										
	成果指標 (1)		%	88.62	88.47	91.00		87.86		91.00			
	成果指標 (2)		%	43.83	44.21	45.00		44.29		45.00	50.00	88.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	37,851	64,858	56,126		44,989		43,995	特記事項		
	(内)委託費		千円		6,300	8,600		1,832		0			
	職員数 (正規 非常勤)		人	31.67		31.91		33.91		33.90		34.90	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	287,342	289,519	307,733		307,643		316,718		
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0		0		
	総事業費 + +		千円	325,193	354,377	363,859		352,632		360,713			
	単位あたりコスト ÷		円	2,765	2,932	2,910		2,843		2,812			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0		0		
		国 都等からの支出金		千円	325,193	354,377	363,859		0		0		
		特定財源計 +		千円	325,193	354,377	363,859		0		0		
差引：一般財源 -		千円	-0	0	0		352,632		360,713				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		長引く景気の停滞、度重なる保険料の値上げ、介護保険第2号被保険者分保険料と合算徴収などが重なり、収納率は低下の傾向にある。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		保険料は、2回賦課により変更が多く、そのたびに保険料が変更されるため苦情が多い。										
	今後の予測		景気回復の遅れと介護保険第2号被保険者分保険料合算徴収等により、収納率の低下の傾向が続くと予想される。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険運営協議会				整理番号	964		枝番号				
所属部課名		保健福祉部国民健康保険課		コード	090501		連絡先電話番号	1232		昨年度整理番号	1004		
係名		管理係				上位施策名			NO				
予算事業名		国民健康保険運営協議会		コード	91040		国民健康保険の運営			37			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 国民健康保険法第11条						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		国民健康保険被保険者及び関係各機関代表（国民健康保険運営協議会委員）		(2) 杉並区国民健康保険条例第2条						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		国保事業の運営の適正を図るために区長より諮問された事項について審議する。				活動指標名（式）						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		国保事業を真に被保険者のための制度として円滑かつ、民主的に運営するために、各委員より諮問事項について積極的な意見・要望を出してもらう。				成果指標名（式）						
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		国保事業を真に被保険者のための制度として円滑かつ、民主的に運営する。				(1) 委員の出席率						
						(2)							
						(1) 委員の出席率							
						(2)							
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績			年度				
指標	活動指標(1)		回	1	1	3	1	3					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	90	80	100	95	100					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	247	211	748	274	912	特記事項				
	(内)委託費		千円										
	職員数(正規 非常勤)		人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	907	907	908	908	908				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	1,154	1,118	1,656	1,182	1,820					
	単位あたりコスト ÷		円	1,154,300	1,118,300	551,833	1,181,500	606,500					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0				
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	1,154	1,118	1,656	1,182	1,820						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		国保制度発足時と比較し、就業構造の変化や人口の高齢化により国保加入者に占める無職者や高齢者の比率が高くなっている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		国保加入者は高齢者が多く、他の医療保険制度との不公平感、また国保加入者間にも保険料の不均衡が生じる等、制度的不満がある。										
	今後の予測		特別区の調整条例が廃止されたことにより、今まで以上に運営協議会の役割は重要になっている。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険事業の普及啓発				整理番号	965		枝番号		
所属部課名		保健福祉部国民健康保険課		コード	090501	連絡先電話番号	1232		昨年度整理番号	1005	
係名		管理係			上位施策名				NO		
予算事業名		国民健康保険事業趣旨普及・保健事業			コード	91050・91200		国民健康保険の運営		37	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 国民健康保険法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		国民健康被保険者		(2)				
							(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		国保制度や国保事業の内容を被保険者に伝える				活動指標名(式)				
							(1) 国保だより」の発行部数				
						(2) わかりやすい国保」の発行部数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		被保険者に国保制度や国保事業の趣旨を理解してもらう。				成果指標名(式)					
						(1) 国保だより」わかりやすい国保の1世帯あたりの発行回数 = 発行部数 / 平均被保険者世帯数					
						(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		被保険者に国保制度・事業を理解してもらうことにより、国保事業の円滑な運営に貢献している。									
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	部	291,500	302,200	323,000	314,500	342,000				
	活動指標(2)	部	145,700	150,000	152,500	130,000	159,500				
	成果指標(1)	回	4.2	3.7	3.8	3.6	3.9				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,636	5,855	7,915	7,135	8,102	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.25	0.30	0.30	0.30			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,722	2,268	2,723	2,723	2,723			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	9,358	8,123	10,638	9,858	10,825			
	単位あたりコスト ÷		円	32	27	33	31	32			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	9,358	8,123	10,638	9,858	10,825				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		不況が長期化し失業者が増加しているため、国民健康保険の被保険者数は年々増加している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		わかりやすい紙面づくりを期待されている。								
	今後の予測		今後もさらなる景気の悪化等により被保険者数の増加が見込まれる。それにともない国保財政も厳しさを増すため、国保制度を理解してもらい趣旨普及事業の重要性は高まる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		東京都国民健康保険団体連合会負担金（国民健康保険）				整理番号	966		枝番号						
所属部課名		保健福祉部国民健康保険課		コード	090501		連絡先電話番号	1232		昨年度整理番号	1006				
係名				管理係				上位施策名				NO			
予算事業名				東京都国民健康保険団体連合会負担金				コード	91060		国民健康保険の運営				
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 東京都国民健康保険団体連合会会員負担金規定						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京都国民健康保険団体連合会		(2)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				国民健康保険団体連合会会員である保険者が東京都国民健康保険団体連合会へ負担金を支払う。				活動指標名（式）				(1) 支払回数		
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				国民健康保険団体連合会の適正な運営				成果指標名（式）				(1)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				国保事業の円滑な運営に必要である国民健康保険団体連合会が適正に運営されることにより、国保事業の安定した運営に貢献する。								(2)			
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標（1）		回	4		4		4		4					
	活動指標（2）														
	成果指標（1）														
	成果指標（2）														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,860		11,682		12,385		10,938		12,693		特記事項	
	（内）委託費		千円	0		0		0		0		0			
	職員数（正規 非常勤）		人	0.10		0.10		0.10		0.10		0.10			
	人件費	職員分（超勤分含む）		千円	907		907		908		908		908		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	12,767		12,589		13,293		11,846		13,601			
	単位あたりコスト ÷		円	3,191,825		3,147,325		3,323,125		2,961,375		3,400,125			
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0		0		
		国 都等からの支出金		千円	0		0		0		0		0		
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引：一般財源 -		千円	12,767		12,589		13,293		11,846		13,601				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初から現在に至るまで連合会の重要性は変わらない。												
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待 要望 苦情など）		特になし。												
	今後の予測		国民健康保険事業を運営していくにあたり 国民健康保険団体連合会の必要性は変わらず重要なものであると考えられる。												

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国民健康保険の給付等				整理番号	967		枝番号				
所属部課名		保健福祉部国民健康保険課		コード	90501		連絡先電話番号	1273		昨年度整理番号	1007		
係名 給付係					上位施策名					NO			
予算事業名 療養の給付					コード					国民健康保険の運営		37	
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 34 年度					根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度					(1) 国民健康保険法							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区の国民健康保険被保険者で、保険医療機関等で診療等を受けた人及びその世帯主					(2) 国民健康保険条例							
						(3) 国民健康保険条例施行規則							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 被保険者の疾病、負傷に関し、診察、治療、手術等の現物給付(役務の提供)を行う。また、医療費の保険者負担金を支払う。					活動指標名(式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 被保険者の医療費負担が軽減され、安心して医療が受けられるようにする。また、医療費の適正化を図る。					成果指標名(式)							
					(1) 被保険者一人当たり給付件数 = 給付(支給)件数 / 平均被保険者数								
					(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 国民健康保険事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び区民保険の向上に寄与する。													
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	件	1,550,649	1,601,871		1,656,594							
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	件	8	9		9							
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	19,831,435	20,365,129	22,192,982	20,889,269	22,096,559	特記事項				
	(内)委託費		千円	86,072	83,102	98,075	85,771	99,678					
	職員数(正規 非常勤)		人	15.83 3.00	15.95 3.00	15.95 3.00	16.11 3.00	16.11 3.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	143,626	144,714	144,746	146,198	146,198					
		非常勤職員分	千円	8,817	8,817	8,898	8,898	8,898					
	総事業費 ++		千円	19,983,878	20,518,660	22,346,626	21,044,365	22,251,655					
	単位あたりコスト ÷		円	12,887	12,809		12,703						
	財源	受益者負担分		千円	9,915,718	10,182,565	9,280,688	9,129,311	9,559,067				
		国都等からの支出金		千円	10,068,160	10,336,095	13,065,938	11,915,054	12,691,681				
		特定財源計 +		千円	19,983,878	20,518,660	22,346,626	21,044,365	22,250,748				
差引:一般財源 -		千円	-0	0	0	0	907						
受益者負担比率 ÷		%	49.6	49.6	41.5	43.4	43.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		給付件数は毎年増加している。療養の給付に限っても、昭和59年度934,200件、平成13年度1,656,594件となっている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		被保険者が病気や怪我をしたときに、保険証を保険医療機関等に提示することにより、医療を安心して受ける事ができる。										
	今後の予測		法改正により平成14年10月より国民健康保険の対象年齢を段階的に引き上げることになり、今後、給付件数は増加していくことが予想される。										

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		他制度への拠出金				整理番号	968		枝番号		
所属部課名		保健福祉部国民健康保険課		コード	090501	連絡先電話番号	1232		昨年度整理番号	1008	
係名		管理係			上位施策名				NO		
予算事業名		老人保健拠出金・介護納付金・共同事業拠出金		コード	91170 91180 91183・91187 91188 91190		国民健康保険の運営			37	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 老人保健法				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 介護保険法				
	老人保健制度・介護保険制度（社会保険診療報酬支払基金）、高額医療共同事業・退職者医療共同事業（東京都国民健康保険団体連合会）						(3) 国民健康保険法				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		老人保健医療事業や介護保険事業に要する費用に充てるため、当該年度の概算請求分等の支払を行う。また、共同事業を行っている高額医療事業、退職医療制度該当者リスト処理にかかる費用に充てるための拠出を行う。				活動指標名（式）				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		保険者として拠出金・納付金を遅滞なく負担することで、各事業・制度の健全な運営を図る。				成果指標名（式）				
						(1) 給付費等に対する拠出金の割合 = 拠出金額 / (保険給付費 + 拠出金額)					
						(2)					
						意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか					
						各事業・制度の健全な運営を確保することで、わが国の社会保障制度に寄与する。					
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	事業	2	4	4	4	4				
	活動指標(2)	団体	2	2	2	2	2				
	成果指標(1)	率	33.5	35.9	37.4	38.6	41.1				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,985,360	11,390,549	13,276,196	13,157,482	15,410,938	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30	0.50	0.60	0.60	0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,722	4,537	5,445	5,445	5,445			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	9,988,082	11,395,086	13,281,641	13,162,927	15,416,383			
	単位あたりコスト ÷		円	4,994,041,000	2,848,771,500	3,320,410,250	3,290,731,750	3,854,095,750			
	財源	受益者負担分		千円	3,412,468	4,143,713	6,234,912	5,705,198	6,413,224		
		国 都等からの支出金		千円	6,575,614	7,251,373	7,046,729	7,457,729	9,003,159		
		特定財源計 +		千円	9,988,082	11,395,086	13,281,641	13,162,927	15,416,383		
差引：一般財源 -		千円	0	0	0	0	0				
受益者負担比率 ÷		%	34.2	36.4	46.9	43.3	41.6				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		老人保健制度は各保険者の運営を圧迫させており、各保険者の拠出金は増加傾向にある。そのため、平成14年10月より医療制度改革が実施され、老人保健医療の年齢引上げや一部負担の改正、高額療養費の改正が行われることになった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)										
	今後の予測		今回の医療制度改革は、保険者負担額に多大な影響を及ぼすことが見込まれる。また、政府は、引き続き保険制度の一本化など抜本的改革の検討を行う予定。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保養施設				整理番号	969		枝番号			
所属部課名		保健福祉部国民健康保険課		コード	090501	連絡先電話番号	1232		昨年度整理番号	1009-1		
係名		管理係			上位施策名				NO			
予算事業名		保健事業		コード	91200		国民健康保険の運営				37	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		44 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 国民健康保険法第82条					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		国民健康保険被保険者		(2) 杉並区国民健康保険条例第12条					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		夏季保養施設として海の家・温泉の家を借上げ、被保険者の利用に供する。				活動指標名 (式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		レクリエーション・温泉入浴を通して心身をリフレッシュすることにより、被保険者の健康維持・増進を図る。				成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 被保険者の健康保持・増進を図ることにより、医療にかかることを減らし、結果として医療費を抑制できる。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標 (1)		室	365	291	291	291	291	296			
	活動指標 (2)		件	329	276	291	281	296				
	成果指標 (1)		%	90.0	95.0	100.0	96.6	100				
	成果指標 (2)		%	71	76	100	67	100				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7,836	6,951	6,979	6,965	6,979	特記事項			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0				
	職員数 (正規 非常勤)		人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	7,258	7,260	7,260	7,260				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	15,094	14,209	14,239	14,225	14,239				
	単位あたりコスト ÷		円	41,355	48,830	48,931	48,883	48,105				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0			
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 -		千円	15,094	14,209	14,239	14,225	14,239					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		開始当初から現在にいたるまで被保険者からのニーズは非常に高い。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		もっと施設を増やしてほしい」「1年中利用したい」来年も期待している」といった声が数多くアンケートで寄せられている。									
	今後の予測		被保険者の増加に伴い、保養施設の利用希望者も増えると思われる。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		健康づくり推進事業				整理番号	970		枝番号			
所属部課名		保健福祉部国民健康保険課		コード	090501	連絡先電話番号	1232		昨年度整理番号	1009-2		
係名		管理係			上位施策名				NO			
予算事業名		保健事業		コード	91200		国民健康保険の運営					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 13 年度		(1) 平成13年度生き生き市町村を育む保健事業推進事業実施要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		国民健康保険被保険者で概ね60歳以上の方		(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		自分の体は自分で癒すことを目標に、健康維持や体力維持に役立つ運動や健康法を行う。 初心者向けの山道コースでのトレッキング。帰りに温泉につきり疲れを取り、健康に役立てる。				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		高齢者の健康の保持、増進と区民相互の交流、仲間づくりを促進する。また、地域住民組織の協力を得て事業を行うことにより、地域社会の活性化を図る。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		高齢者の健康の保持増進を図ることにより、医療にかかる機会を減らし、結果として医療費の抑制を図る。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	100	140	121		140	86.4			
	活動指標(2)		%		140%	100%	86%		100%	86.0		
	成果指標(1)		%		93%	100%	100%		100%	100.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,040	1,040	1,150	特記事項					
	(内)委託費		千円	1,040	1,040	1,150						
	職員数(正規 非常勤)		人		0.10	0.10	0.10					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	907	908	908	0			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	1,947	1,948	2,058	0				
	単位あたりコスト ÷		円		19,473	13,911	17,004					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0					
		国 都等からの支出金		千円	0	1,040	1,040	1,150				
		特定財源計 +		千円	0	1,040	1,040	1,150	0			
差引:一般財源 -		千円	0	907	908	908	0					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		高齢者の人口及び医療費総額は年々伸びている。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		「またこのような企画をお願いします」「回数を増やしてほしい」など感謝の意見が多数寄せられている。また「これを契機に歩くことを日課としたい」「自分の体は自分で守っていくこと、体に合わせていくことがよくなった」など健康に対する関心が向上したと思われる意見もあった。									
	今後の予測		高齢者人口が増え、医療費が高額化していく現在、このような保健事業は医療にかかる機会を減らし、結果として医療費の抑制を図ることができるといわれている。他都市では温泉を利用した保健事業に予算を投入し、総額としての予算を押さえることができた、という話もある。今後当区でも考えていく必要がある。									

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	医療費通知	整理番号	971	枝番号		
所属部課名保健福祉部国民健康保険課	コード	90501	連絡先電話番号	1273	昨年度整理番号	
					1037	
係名 管理係	上位施策名				NO	
予算事業名 保健事業	コード	91200	国民健康保険の運営		37	
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	56	年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成	年度	(1) 厚生省保険局国民健康保険指導管理官通知	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	(2)			
	被保険者である5月・9月に保険医療機関等を受診した人				(3)	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)	
	対象者に診療区分・受診月・受診保険医療機関・受診者氏名・日数・医療費(10割)について通知する。				(1) 延べ通知世帯件数	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)		
受診時の医療費がどのくらいかかったか、またその医療費がどのように支払われているかを被保険者に理解してもらうとともに、今後の健康づくりの参考として活用してもらう。				(1) (代)1回あたりに通知した世帯の割合 = 1回あたり通知世帯数 / 平均被保険者世帯数		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				(2)		
多受診、重複受診の減少が期待でき、医療費の抑制・適正化が図れる。						

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	件	86,132	89,225	140,800	95,777	120,600		68.0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	37	37	56	49	61		87.5	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,068	5,330	6,897	5,785	7,192	特記事項		
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	1,815	1,815	1,815	1,815		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	6,883	7,145	8,712	7,600	9,007			
	単位あたりコスト ÷	円	80	80	62	79	75			
	財源	受益者負担分	千円							
		国 都等からの支出金	千円	6,883	7,145	8,712	7,600	9,007		
		特定財源計 +	千円	6,883	7,145	8,712	7,600	9,007		
差引:一般財源 -		千円	-0	-0	0	0	0			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

事業を取り巻く環境	<p>開始当初から現在までの変化</p> <p>事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)</p> <p>今後の予測</p>	<p>事業開始年度は通知回数1回(通知対象診療月9月)、平成10年度以降年2回(通知対象診療月5月・9月)</p> <p>通知されたことで医療費について認識を深めたという人、毎月送付してほしいという要望がある反面、このようなものは失礼だとの苦情もある。</p> <p>受診機関での領収明細書の請求が増加しており医療費通知との照合を行う被保険者が増加していくことが考えられる。</p>
-----------	---	---

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		福祉年金事務			整理番号	333		枝番号			
所属部課名	国民年金課		コード	90603		連絡先電話番号	2233		昨年度整理番号	354	
係名	年金給付係			上位施策名	NO						
予算事業名	福祉年金事務		コード	35200		国民年金制度の運営			38		
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		34年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 国民年金法					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		老齢福祉年金受給者及び障害基礎年金受給者。(所得制限のある年金)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	定時届・現況届処理、裁定請求書等受付、届書の勤奨、所得状況等調査、証書回収、死亡転出等調査、年金受給相談				活動指標名(式) (1) 老齢福祉年金定時届等処理件数 (2) 障害基礎(所得制限あり)年金現況届処理件数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	老齢福祉年金・障害基礎年金の受給手続きに関する相談や勤奨を行い、年金を受給できるようにする。				成果指標名(式) (1) 老齢福祉年金定時届等処理件数/老齢福祉年金受給権者数 (1人当りの対応回数) (2) 障害基礎年金現況届処理件数/障害基礎年金受給者数 (1人当りの対応回数)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者、障害者の自立した生活の維持向上に貢献する。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		件	2,122	1,664	1,340	1,290	970			
	活動指標(2)		件	3,859	3,988	4,005	4,512	4,200			
	成果指標(1)		回	2.5	2.3	2.3	2.3	2.4			
	成果指標(2)		回	1.8	1.8	1.7	2.1	2.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,120	892	862	586	481	特記事項		
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)		人	3.42	3.40	3.40	3.40	2.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	31,030	30,848	30,855	30,855	18,150			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + + +		千円	32,150	31,740	31,717	31,441	18,631			
	単位あたりコスト ÷		円	15,151	19,075	23,669	24,373	19,207			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0		
		国・都等からの支出金		千円	2,223	1,359	1,324	1,057	483		
		特定財源計 +		千円	2,223	1,359	1,324	1,057	483		
差引:一般財源 -		千円	29,927	30,381	30,393	30,384	18,148				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		老齢福祉年金は、受給対象者の加齢に伴う自然減により、年々受給者数は減少している。しかし、20歳前から障害のある方等に支給するいわゆる所得制限のある障害基礎年金については、対象者は横ばいである。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		老齢福祉年金については、受給者本人及び扶養義務者に対する所得制限の緩和の要望がある。								
	今後の予測		今後も老齢福祉年金については、受給者数の減が見込まれる。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		被保険者資格管理事務				整理番号	334		枝番号		
所属部課名		保健福祉部国民年金課		コード	90601	連絡先電話番号	2222		昨年度整理番号	355	
係名		年金資格係			上位施策名				NO		
予算事業名		拠出制年金事務		コード	35400		国民年金制度の運営				38
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		35 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 国民年金法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 国民年金市町村事務処理基準				
	厚生年金保険、共済組合加入者以外の20～60歳(原則)までの区民						(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各種届出受付、相談、被保険者の資格及び未加入者への加入勧奨				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		未加入者の発生を防止し、受給世代の給付財源の一端を担うとともに、自らの受給権の確保により、高齢者等の生活の安定を図る。				成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		無年金者や低額年金受給者の発生を防止することにより、制度の継続的安定を図れる。				(1) 第1号被保険者数 ÷ 推定被保険者数 = 適用率					
						(2) 加入者数 ÷ 勧奨件数				加入者数は、既に他の公的年金制度加入者を含む。	
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	人	157,589	161,570	162,000	164,546	125,000				
	活動指標(2)	人	22,420	20,217	20,400	16,010					
	成果指標(1)	%	82.0	108.1	100	107.3	100				
	成果指標(2)	%	82.0	23.2	70.0	33.2					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,089	2,867	4,466	3,821	5,684	特記事項		
	(内)委託費		千円	325	245	330	201	0	平成14年度から、第3号被保険者の届出は事業主経由になったために被保険者数に含めない。併せて、勧奨事務は国が行なっているので、加入勧奨者としての活動指標はなくなったが、15年度に向けて新たな活動指標・成果指標を検討する。また、14年度の職員数が、2名増となっているのは、勧奨事務がなくなり代わりに保険料の免除事務等が加わり統廃合したことによるため。		
	職員数(正規 非常勤)		人	14.03	14.00	14.00	14.01	16.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	127,294	127,022	127,050	127,141	145,200			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + + +		千円	131,383	129,889	131,516	130,962	150,884			
	単位あたりコスト ÷		円	834	804	812	796	1,207			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国都等からの支出金		千円	138,087	135,187	118,240	138,177			132,721
		特定財源計 +		千円	138,087	135,187	118,240	138,177			132,721
差引:一般財源 -		千円	-6,704	-5,298	13,276	-7,215	18,163				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		当初、被用者年金制度加入者の配偶者、学生等は任意適用であったが、法改正により現在は、海外居住者を除き強制適用(原則)となり、無年金者の解消に向けて法的に整備されてきている。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		学生に対する適用への不満、第3号被保険者の制度がわかりにくい、将来の受給への不安など。								
	今後の予測		公的年金制度は、本格的な少子高齢社会の到来や長引く景気の低迷により様々な問題を浮き彫りにしている。国民年金では検認率(収納率)の低下、物価にスライド適用の可否、第3号被保険者の保険料負担のあり方など大きな検討項目である。しかし、被保険者の資格管理については、平成13年度をもって国との役割分担がある程度整理されたことにより当面大きな変化はない。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		保険料収納事務				整理番号	335		枝番号		
所属部課名		保健福祉部国民年金課		コード	90601	連絡先電話番号	2222		昨年度整理番号	356	
係名		年金資格係			上位施策名				NO		
予算事業名		拠出制年金事務		コード	35400		国民年金制度の運営				38
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		36年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 14年度		(1) 国民年金法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 国民年金印紙売りさばきに関する省令						
	区内在住の国民年金第1号被保険者及び任意加入者		(3) 国民年金市町村事務処理基準								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)								
保険料を収納し検認()するために、納付書の発行・口座振替による収納を行う。また、納付困難者は免除等の申請を受けつける。検認とは、区民から預かった保険料を国に納めることを言う。国からあらかじめ購入した年金印紙を消し込む行為。		(1) 検認実施月数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)									
保険料を納付してもらうことにより、被保険者である区民が、老齢基礎年金や障害基礎年金などの受給ができる状態にする。また、納付困難者については、免除制度等を活用し受給に及ぼす影響を最小限にとどめる。		(1) 検認率 (検認実施月数 / 検認対象月数)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		(2)									
区民の年金権を確保することで、住民の福祉向上に貢献している。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		月	687,355	673,719	715,500	664,014	35,271			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	64.9	61.9	65	59.4				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	57,393	52,453	55,280	44,997	2,278	特記事項 平成14年度から検認事務は廃止(免除事務等は除く)され国が直接収納事務を行う。ただし、残務事務の一つとして14年4月末まで一部収納事務が残る。よって、14年3月分の検認対象月数を活動指標として再掲した。		
	(内)委託費		千円	13,305	12,120	12,502	10,342	1,659			
	職員数(正規 非常勤)		人	19.79	19.37	19.30	19.34	1.01			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	179,555	175,744	175,148	175,511		9,166	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 + + +		千円	236,948	228,197	230,428	220,508	11,444			
	単位あたりコスト ÷		円	345	339	322	332	324			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0		0	
		国都等からの支出金		千円	268,267	273,828	255,614	280,669		9,286	
		特定財源計 +		千円	268,267	273,828	255,614	280,669		9,286	
差引:一般財源 -		千円	-31,319	-45,631	-25,187	-60,162	2,158				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		急速な少子高齢化の進展により、保険料の負担世代に対し、受給世代の割合が増加している。また、長引く景気の低迷や年金制度への不信感の増大等により、未納者が増え年金制度が問い直されている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		将来年金はもらえるのか?」免除基準に対する要望」未納者に対してもっと強力に収納すべきなど								
	今後の予測		国民年金制度は国庫負担のあり方等様々な議論があるあるが、検認事務については、地方分権一括法の施行に伴い、平成14年度から廃止(免除事務等を除く)され、保険料は直接国に納めることになった。このため、区で保険料を取り扱うのは13年度分(14年4月末)までである。								

平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		受給者関係事務		整理番号	336	枝番号		
所属部課名	国民年金課	コード	90603	連絡先 電話番号	2233	昨年度 整理番号	357	
係名	年金給付係	上位施策名				NO		
予算事業名	拠出制年金事務	コード	35400	国民年金制度の運営				38
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	35 年度	根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度	(1) 国民年金法				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	国民年金受給者及び受給予定者	(2) 国民年金市町村事務処理基準				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名 (式)				
	老齢基礎年金・障害基礎年金、遺族基礎年金、死亡一時金等の受給予定者への受給相談や勧奨、裁定請求受付を行う。			(1) 拠出年金勧奨・届出件数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名 (式)					
各基礎年金の受給手続きに関する相談や勧奨を行い、年金が受給できるようにする。			(1) 拠出年金関係申請件数/拠出年金勧奨・届出件数					
			(2) 障害年金裁定申請件数/障害年金受給希望者相談件数					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 高齢者、障害者等の自立した生活の維持向上に貢献する。								

区分	単位	11年度 実績	12年度 実績	13年度		14年度 計画	目標値		目標値に対 する13年度 の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標 (1)	件	5,579	4,746	4,720	4,708	4,100			
	活動指標 (2)	件	1,013	1,140	1,260	1,208	1,200			
	成果指標 (1)	%	52.9	43.1	41.3	40.0	31.7			
	成果指標 (2)	%	15.7	13.2	13.6	11.9	12.5			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	78	20	91	13	2,437	特記事項		
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0			
	職員数 (正規 非常勤)	人	5.63	5.63	5.60	5.60	5.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	51,081	51,081	50,820	50,820	45,375		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + + +	千円	51,159	51,101	50,911	50,833	47,812			
	単位あたりコスト ÷	円	9,170	10,767	10,786	10,797	11,661			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0		
		国 都等からの支出金	千円	45,697	54,463	47,636	55,271	41,475		
		特定財源計 +	千円	45,697	54,463	47,636	55,271	41,475		
差引：一般財源 -		千円	5,462	-3,362	3,275	-4,438	6,337			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	区民の高齢化に伴い、受給対象者数は増加している。しかし、女性の社会進出等に伴う厚生年金への移行もあり国民年金の裁定請求件数は横ばいとなっている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	年金制度が複雑なため、手続きの方法や区と社会保険事務所との役割分担がわかりにくい。								
	今後の予測	年金法のたび重なる改正に伴う制度の周知や、区民一人ひとりの年金加入状況に応じたきめ細かな相談・勧奨が必要になってくる。								